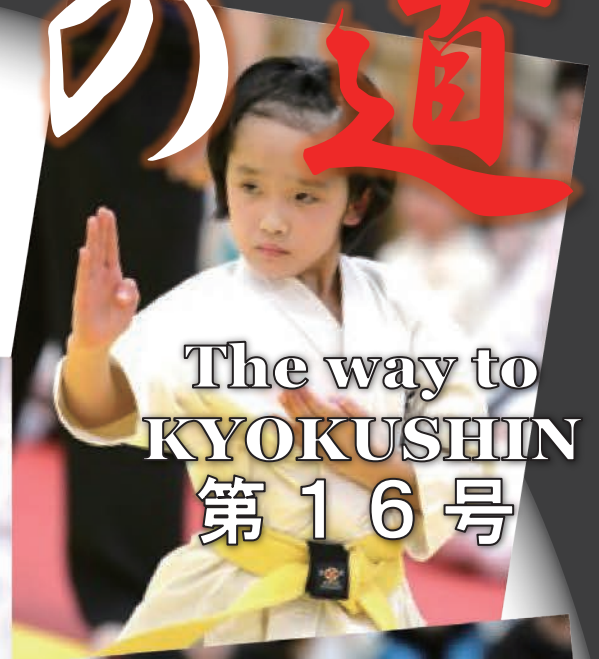


極真への道



The way to
KYOKUSHIN
第16号



第1回全日本極真
「型」空手道選手権大会

アジア空手道選手権大会

オーブントーナメント

第3回全日本極真空手道選手権大会

戸田道場が目指すものとは

強豪列伝

自立した子供に育つためには

～子供の機会を奪っていないか考えてみる～



一般社団法人国際空手道連盟
極真会館 愛媛県戸田道場

代表師範 戸田美智男

私はいつも空手で「子供が自立した大人になること」、「一人で生きていく力をつけること」とことあるたびにお話をしています。

それは警察時代に子供たちの不良化、いじめ、引きこもりや不登校など多くの問題を扱い、大勢の教師や保護者の方から相談を受けて対応してきた経験があるからなのです。

また、30年前の大洲警察署生活安全課長時代に、大洲でさえ多くの少年犯罪が起きていて、極真空手を教えることで改善しようと考え「大洲警察署少年空手教室」を作り、大きな効果をあげたことが今の戸田道場の活動に繋がっています。

そうした経験から、子供たちの問題事案の原因の多くが親の「過保護」であるケースが非常に多くあることを強く感じてきました。

少子化傾向が止まらない日本では、子供の数がどんどん減り続けていて、1人の子供に対する親の過保護はどんどんエスカレートする一方で、子供のことを何でもやってしまう親が多くなっていて、子供が「できない」と言えば、かわいそうだからと学校の準備や着替えなどまでやってあげてしまっています。

親が何でもやってあげることで、子供は自分でやる機会がどんどん奪われていることに気がつく必要があると思います。

子供が「できない」と言うのは、物理的にできないのではなく、「やり方が分からない」ということなのです。

さらに、子供が言うことを何でも言いなりになって「しつけ」や「家庭での教育」をやらない親が増えているのではないのでしょうか。

私の指導は「言葉使い」や礼のやり方、座り方までに及び、最近では稽古後には道場を雑きん掛けをして「自分の道場は自分で綺麗にする」ことを教えています。

親があえて厳しい経験を子供に与えることは、必ず成長を促し、ゆくゆくは子供のためになります。

これからも親御さん方の理解を得ながら一緒に、子供たちが「自立した子供に育つように」しっかりと指導を続けてまいります。

第1回アジア空手道選手権大会

令和6年8月1日 カザフスタン アスタナで開催



神原 敏行 選手 シニア男子75Kg 準優勝

準優勝までの道のり

令和6年8月1日、カザフスタンの首都アスタナで開催された「第1回アジア空手道選手権大会」に、シニア男子75kg級の選手として出場しました。今治支部の支部長として指導を続ける中で、今回は自分自身が選手としての立場に立ち、新たな挑戦に臨みました。

全日本大会や世界大会など、大きな大会の出場経験はあるものの、海外での試合出場はこれが初めて。以前、道場生の審判としてアスタナを訪れたことはありましたが、自らが道着を着てこの地で戦うというのは、またまったく違う意味を持つ経験でした。アスタナは、大規模な建物が立ち並び、活気あふれる都会という印象。その一方で、国全体にエネルギッシュな成長の気配も感じられる、独特の雰囲気を持つ街です。

出場を決めた75kg級の体重制限を守るためには、大会前に約10kgの減量が必要でした。もともと85kg近くあった体重を落とすため、食事制限とトレーニングを徹底して行い、日々自分自身との戦いを続けていました。飛行機での移動中も機内食には手をつけず、現地入りしてから試合直前まではほとんど食事をとらない生活。肉体的にも精神的にも大変過酷ではありましたが「勝つためには当然の努力」と強い覚悟を持って、ベストな状態で試合に臨むための調整を行いました。

今回、特に意識していたのは「外国人選手に負けないフィジカルの強さを持つこと」。アジア各国の選手たちは体格も大きく、力強い組手を仕掛けてくるため、そこで後れを取るわけにはいかないという気持ちがありました。食事を制限しながらも、トレーニングでは筋力強化を中心に取り組み、外国人選手に押し負けない体を作ることに注力しました。

大会当日は完全なアウェー

現地の空気や観客の雰囲気は、国内の大会とはまるで異なり、独特の緊張感がありました。その中でも、自分の空手を信じ、一戦一戦を丁寧に戦っていききました。1回戦、2回戦と順調に勝ち進むことができ、自分の組手がしっかりと発揮できたことに手応えを感じていました。

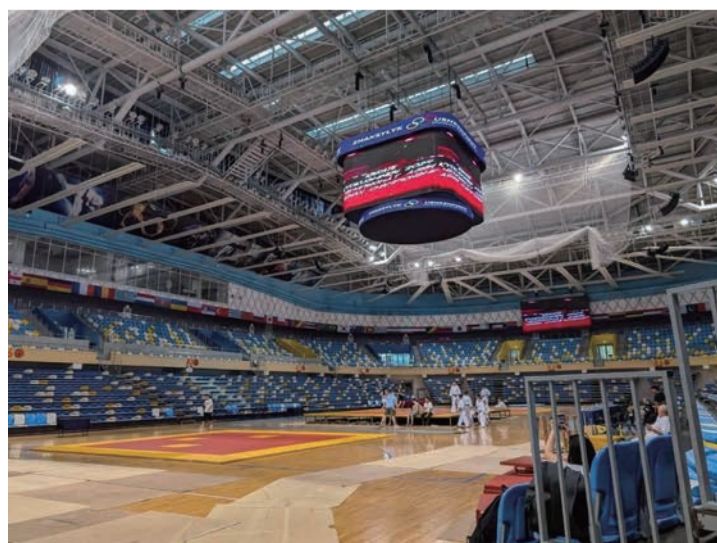
決勝戦の相手は、自分よりも体格に恵まれた大柄な選手。真正面から向かっていききましたが、やはり体格差による圧力は強く、こちらが主導権を握る場面は限られていました。それでも延長戦まで粘りましたが、最終的にはポイントで及ばず、惜しくも準優勝という結果になりました。

試合を終えて、やはり「もっと打ち負けないパ

ワーが必要だった」と痛感しました。もう一步踏み込んで自分から攻める姿勢も、今思えば足りなかったかもしれません。それでも、あの場で全力を出し切ったという実感があり、悔しさの中にも清々しさがあります。

今回の大会を通じて改めて感じたのは、挑戦し続けることの大切さです。年齢を重ねても、肩書が変わっても、自分自身が現役で戦い続けることで、言葉では伝えきれないものを後輩たちに見せられる—そんな気がしています。

異国の地、アスタナでのこの経験は、今後の空手人生、そして支部での指導にも必ず活かされていくと信じています。準優勝という結果を胸に、これからも精進してまいります。



大会会場の様子



応援してくれた田畑理事長(右から2番目)方と



海外の選手と極真空手を通じて交流



日本代表選手団と空港で撮影

第1回全日本極真 「型」空手道選手権大会

戸田道場の快進撃！

全国に轟く型の強さ

令和7年1月18日(土)に横浜武道館武道場で開催された「第1回全日本極真空手道選手権大会」は、昨年までは極真会館のみの出場での「全国大会」として開催されていたものを、他流派にも門戸を広げて各地区での権利大会において出場権を得た選手約400人が各クラスの優勝を目指しました。戸田道場からは28人の選手が出場し熱い戦いに挑みました。

試合が進むにつれ、戸田道場の選手は次々と決勝に勝ち上がり中には3コート同時に戸田道場生が試合をするという驚きの光景が繰り広げられました。

副理事長として正面席に座っている戸田師範も驚く好成績で新居浜高津支部の日野聖太選手(小2混合)が最初に優勝を勝ち取ると、続いて西森正道選手(小6男子)、小川紗良選手(小5女子)と福田こころ選手(小4女子)の松山三津支部の3人が次々と優勝を勝ち取り、さらに濱井敦史師範代が場内に息吹が鳴り響く三戦の型で壮年男子60歳～69歳の部の決勝に駒を進めて圧倒的強さで頂点を極め、さらに女子40～49歳の部の寒作智美味酒支部長が決勝戦で惜しくも青森県鹿内道場責任者の鹿内茜責任者に僅差で敗れたものの見事準優勝となりました。また、三津支部の濱本稜斗選手(小3男子)が第3位に入賞しました。

その他、村上哲也選手(壮年男子40歳～49歳 愛媛県警空手部)と村上晴記選手(中学生男子本部)の親子は2人共に予選を上位で決勝戦に進みながら残念ながら入賞を逃しました。

この大勢の入賞者の排出は、全国に戸田道場の型の強さを知らしめました。

来年は1月10日(土)に同じく横浜武道館武道場で「第2回全日本極真型空手道選手権大会」が開催される予定であり、全国最多の入賞を誇った戸田道場が更なる進化を遂げることが期待されます。



日野聖太選手
(小学2年生の部)
優勝



西森正道選手
(小学6年生男子の部)
優勝



福田こころ選手
(小学4年生女子の部)
優勝



小川紗良選手
(小学5年生女子の部)
優勝



濱井敦史選手
(壮年男子60～69歳の部)
優勝



寒作智美選手
(壮年女子40～49歳の部)
準優勝



濱本稜斗選手
(小学3年生男子の部)
第3位

全国最多の入賞
～優勝5人、準優勝・第3位1人～

極真「型」空手道選手権

主管 (一社) 国際空手道連盟 極真会館 連合会



第3回オープントーナメント 全日本極真空手道選手権大会



神原敏行選手
第3位

志賀賢一選手
優勝

山下学選手
準優勝

闘志と誇り—戸田道場、全日本の舞台で輝く！

令和7年1月19日（日）に横浜武道館アリーナにおいて「第3回全日本極真空手道選手権大会」が開催されました。

極真会館戸田道場からは、シニアの部に志賀賢一選手（西条、西条氷見支部長）、神原敏行選手（今治、松山鷹子・小野支部長）、山下学選手（今治・愛媛県消防空手部）、松木洋三選手（上部）、丹下英人選手（今治・愛媛県警空手部）の5名が、一般女子上級の部の小山晴緒選手（味酒）が出場しました。

極真空手の統一全日本大会として3回目となる本大会、他流派を含めて181人の選手が全国から集まり頂点を目指して戦いました。

大会会長には戸田師範との絆で地元愛媛の塩崎彰久衆議院議員が全日本型大会と同様に就いて頂いています。

丹下選手は男子シニア（48歳～59歳）の1回戦で敗れ、前回の世界大会出場者の松木選手も男子シニア（49歳～59歳）重量級において序盤で姿を消しました。

また、初出場の小山選手は1回戦で本大会3位に入賞した強豪桜塾の清水由埜選手と当たり、健闘したものの判定負けしました。

また、男子シニア（40歳～47歳）軽量級に出場した山下選手は決勝まで勝ち上がったものの、田中克司選手（関心会）に判定で敗れ準優勝となりました。

男子シニア（40歳～47歳）重量級の神原選手は1回戦を判定勝ちしましたが、準決勝で敗れ第3位に入賞し、同じクラスに出場した志賀選手は決勝まで順調に勝ち上がり、過去負け続けている金鐘吉選手（極真関西総本部）延長の末圧倒して優勝という金字塔を打ち立て、その強さは群を抜いていました。

この結果、出場者6人のうち3人が入賞するという素晴らしい結果となり、全日本型大会と同様に戸田道場の強さを示すことができたのでした。

グランドチャンピオン大会制覇

北 光希選手

(今治支部)

強豪 列伝

「ラスト30秒」

相手のセコンドが大声で残り時間を叫ぶ中、彼のセコンドは残り時間の書かれたパネルを高々と掲げた。

彼はそのパネルが視界に入ると同時にギアを1段階上げ相手を圧倒した。勝利への道は、もはや疑う余地がなかった。

極真会館愛媛県戸田道場は、「組手」「型」とともに全国大会を制したものは数多くいるが、「その中で1番活躍した選手は？」と聞かれたなら、多くの者が同じ名を口にするだろう。「北光希」

現在の日本の空手界には数々の「全日本空手道選手権大会」が乱立しており、本物の「日本一」を見定めるのが難しい中、その歴史や技術及び選手層において、フルコンタクト空手の最高峰の試合と明言されるのが極真空手の全日本空手道選手権大会であり、グランドチャンピオン大会である。

そのグランドチャンピオン大会の優勝者で、その他の全日本空手道選手権大会でも優勝を収めている彼の試合には、多くの流派の選手が注目し「最強ってのは、アイツのような男のことをいうんだ」「何の攻撃も効かない不死身の肉体やろ」などの声を耳にする。

「いつか、北光希を超える」

それは、彼と同じ時代に生まれし空手家たちの共通の夢。果てなき目標。そして、彼らの前方に輝く「光」り、「希」望の象徴——北光希。

その名のもと、さらなる飛躍が待っている。



第11回オープントーナメント 四国選抜空手道選手権大会

三上和久（一般男子上級の部軽中量級）
三上汰明（一般男子上級の部重量級）
兄弟ダブル優勝

本大会には、北は東京から南は沖縄まで全国11都府県45流派から3クラスに486人が出場し、幼年から高校生までの上級の部は来年6月に開催される「第30回グランドチャンピオン大会（兼第1回国際グランドチャンピオン大会）」の出場権をかけて激しい戦いが繰り広げられ、地上波のあいテレビ（TBS系列）で年末特別番組として放映予定された。

高校生男子上級の部軽量級では、将来は格闘家を目指す悠心道場の高岡日向がリーグ戦を上段廻し蹴りによる技ありを取るなど圧倒的な強さで優勝した。

また、同じく高校生男子上級の部重量級の極真戸田道場の北光希は、グラチャン高校生1年生重量級で盤石な強さで優勝した力を遺憾なく発揮して圧勝しての優勝を果たした。

壮年男子上級の部軽中量級は、全日本極真統一大会などの入賞者が多数出場していて手に汗握る戦いが繰り広げられたが、極真松井派の世界大会に出場経験のある福田高広（福田道場）が準決勝戦を下段廻し蹴りで1本勝ちを収めて決勝戦に勝ち上がり、昨年の優勝者である極真戸田道場の山下学を圧倒し判定勝ちで優勝を果たした。

また、壮年男子上級の部重中量級の決勝戦は、第5回世界大会出場の松木洋三と一昨年の本大会で準優勝した芥川光宏の極真戸田道場同士の戦いであったが、松木の勢いが勝り判定により優勝を獲得した。

一般男子上級の部軽中量級の決勝は、昨年準優勝に終わった三上和久と、本大会過去2連覇をされていて予選2試合を圧勝して上がってきた松井弥陸との極真戸田道場同門同士の戦いとなった。



反応力に定評がある松井弥陸であったが三上和久のパワーが勝り、本戦判定勝ちで初優勝を果たした。

一般男子上級の部重量級の決勝は、今年3月に開催された愛媛国際親善大会で、はるかに大きい第4回世界大会準優勝者のティームール選手に勝利した三上汰明と、7月に開催された香川県大会で圧勝しての優勝をした桑島康彰（極真香川桑島道場）のワンマッチであった。共に譲らぬ激しい試合となったが、三上汰明選手の有効な技が的確に入り本戦判定で兄の重量級三上和久とのダブル優勝が決まった。

その他、上級の部では極真会館戸田道場は少年の部を含めて27人が入賞するなど、他の2つのクラスでも多くの入賞者が排出された。

なお、戸田道場の青少年健全育成活動が評価されて、愛媛県知事賞や松山市長賞の他に愛媛県議会議長賞、松山市議会議長賞、愛媛県教育長賞が上級の部で選ばれたクラスに贈られた他に、今年から松山市教育長賞が例年の倍となる4人に贈られた。



第11回オープントーナメント四国選抜空手道選手権大会結果一覧

カテゴリ名	優勝	準優勝	第3位	第3位	
幼年上級の部	魏 静舒 志成館				
小学1年生男子の部	広田 剣悠 正道KCIEL				
小学2年生女子上級の部	岩本 城杏 道真会館	岡田 萌希 極真長谷場派			
小学2年生男子上級の部	堀川 大心 極真愛媛	片岡 快晴 極真愛媛	大村 至恩 昭令会	酒木 空助 大井塾	
小学3年生女子上級の部	向井 姫葉 道真会館	福岡 葵 大心会館			
小学3年生男子上級の部軽量級	神田 進生 中元会館				
小学3年生男子上級の部重量級	中川 遙己 国際如水	荒地 神心 正道KCIEL			
小学4年生女子上級の部	加藤 柚果 正道KCIEL	赤瀬 雅 正道KCIEL			
小学4年生男子上級の部軽量級	長井 元次 志長會	森本 倫太郎 正道KCIEL	別府 聖輝 無門塾	土井 瑛介 極真愛媛	
小学4年生男子上級の部重量級	宮内 颯士 日本如水	菅 陸人 極真愛媛	品木 勘太郎 真正会郡田道場	佐伯 達都 極真愛媛	
小学5年生女子上級の部	杉江 美音 全極真	三宅 聖心 敬心館	喜友名 夏音 極真沖縄	菊池 瑚叶 悠心道場	
小学5年生男子上級の部軽量級	星川 城太郎 正道KCIEL	森本 陽奏 国際如水	渡部 陽道 極真愛媛	中村 直登 正道会館ウイスター宇和島	
小学5年生男子上級の部重量級	高田 遼之輔 無門塾	大西 杜和 敬心館	前津宗 一翔 志成館	松田 久俊雅 白蓮奈良	
小学6年生女子上級の部	杉本 楓梨 正道KCIEL	長井 柚樹 志長會	坂田 明音 悠心道場	篠田 実和 志琉会	
小学6年生男子上級の部軽量級	牛尾 隆成 極真神奈川井上	上浅 史人 極真愛媛	西森 正道 極真愛媛	大村 紅蓮 昭令会	
小学6年生男子上級の部重量級	芥川 團 極真愛媛	長瀬 海輝 極真愛媛	宮内 柳帆 日本如水	佐伯 大嘉 極真愛媛	
中学1年生女子上級の部	高見 芽生 至道会館	三原 奈未 道真会館	浅南 愛夢 極真愛媛	加藤 希果 正道KCIEL	
中学1年生男子上級の部軽量級	三木 翔聖 至道会館	益田 空 至道会館			
中学1年生男子上級の部重量級	曾我部 愛誠 福田道場	岡田 拓真 極真愛媛			
中学2・3年生女子上級の部	石岡 優音 志成館	松岡 心桜 国際如水			
中学2・3年生男子上級の部軽量級	西岡 風輝 河野道場	岩越 斗也 極真愛媛			
中学2・3年生男子上級の部重量級	田邊 秀磨 極真愛媛	佐伯 魁成 極真愛媛	岡 裕人 極真愛媛	品 元慶 志琉会	
高校女子上級の部	石岡 莉生 志成館				
高校男子上級の部軽量級	高岡 日向 悠心道場				
高校男子上級の部重量級	北 光希 極真愛媛				
壮年男子上級の部軽中量級	福田 高広 福田道場	山下 学 極真愛媛	白石 将博 極真愛媛	落井 敦史 極真愛媛	
壮年男子上級の部重量級	松本 洋三 極真愛媛	芥川 光宏 極真愛媛			
一般女子上級の部	喜友名 葵 極真沖縄				
一般男子上級の部軽中量級	三上 和久 極真愛媛	松井 弥陸 極真愛媛			
一般男子上級の部重量級	三上 汰明 極真愛媛				
幼年女子ファースト	植田 那葉 悠心道場				
幼年男子ファースト	井手 悠誠 極真愛媛	高岡 奏多 大心会館			
小学1年生女子ファースト	井上 知香 河野道場	谷川 紘 志琉会			
小学1年生男子ファースト	中井 翔咲 王道会館フジワラ七ツ和島	清水 櫻生 大心会館	青木 瑛太 極真愛媛	高橋 輝琉 武道塾	
小学2年生女子ファースト	井手 心結 極真愛媛	金政 こな 正道会館フジワラ七ツ和島	山内 星空 悠心道場	西村 悠花 正道会館フジワラ七ツ和島	
小学2年生男子ファースト	福田 和真 悠心道場	佐伯 来優 志長會	宮下 朔人 正道会館ウイスター宇和島	西山 蓮人 極真香川	
小学3年生女子ファースト	渡辺 晴香 志琉会	大西 ひより 悠心道場			
小学3年生男子ファースト	白川 裕士 極真香川	大谷 季新 王道会館フジワラ七ツ和島	桑原 瑛慈 志成館	神岡 征志 大心会館	
小学4年生女子ファースト	玉井 ちひろ 極真愛媛				
小学4年生男子ファースト	上岡 透馬 日本如水	眞田 結哉 極真愛媛	山内 源介 正道会館フジワラ七ツ和島	笠松 拓矢 極真愛媛	
小学5年生女子ファースト	別宮 麗羽 極真愛媛				
小学5年生男子ファースト	細川 明史 王道会館フジワラ七ツ和島	谷川 莉駒 極真愛媛	松崎 陽人 国際如水	藤岡 礼明 国際如水	
小学6年生女子ファースト	渡部 結衣 極真愛媛	山越 忍々葉 極真愛媛			
小学6年生男子ファースト	山口 佑真 志長會	安井 祐貴 極真愛媛	持田 知 極真愛媛	森田 悠正 吉村道場	
中学生男子ファースト	越智 陸史朗 極真愛媛	山越 琉生 極真愛媛			
高校生男子ファースト	白石 悠翔 極真愛媛				
一般女子ファースト	森岡 日南野 眞煌会館				
一般男子ファースト	片岡 宏泰 極真愛媛				
壮年男子ファースト	喜友名 義文 極真沖縄	日野 慎太 極真愛媛			
小学1年生女子セカンド	山神 葵人 無門塾				
小学2年生女子セカンド	藤川 純七 大心会館				
小学2年生男子セカンド	高須賀 大和 極真愛媛	滝野 竣太郎 極真愛媛	渡部 煌成 極真愛媛	近藤 丞 修練所	
小学3年生女子セカンド	越智 葵彩 河野道場	井上 愛梨 王道会館フジワラ七ツ和島			
小学3年生男子セカンド	大塚 武臣 正道会館宇和島	吉川 謙也 正道KCIEL	小西 慶松 正道KCIEL	國松 弥成仁 道真会館	
小学4年生女子セカンド	矢野 未悠 日本如水	中村 優希音 大心会館			
小学4年生男子セカンド	野本 朗弥 極真愛媛	河野 羽楼 王道会館フジワラ七ツ和島	阿部 光真 極真愛媛	三原 季孝 道真会館	
小学5年生女子セカンド	野本 明那 極真愛媛				
小学5年生男子セカンド	越智 竜雅 修練所	伊與田 恵士 極真愛媛	武田 禪 極真愛媛	坂本 桜太 大心会館	
小学6年生女子セカンド	古賀 結菜 悠心道場				
小学6年生男子セカンド	石丸 龍空 悠心道場	西村 尚弥 悠心道場	石丸 遼煌 極真愛媛	越智 颯斗 河野道場	
中学生女子セカンド	廣澤 一世莉 王道会館フジワラ七ツ和島				
中学生男子セカンド	大滝 晃平 極真愛媛	日野 遼太 極真愛媛	緒方 政斗 悠心道場	高橋 飛羅 志琉会	
高校女子男子セカンド	作田 賢哉 吉村道場				
壮年男子セカンド	桑原 大輔 河野道場				
壮年女子セカンド	玉井 祐子 極真愛媛				
一般女子セカンド	藤原 優良 極真香川				
一般男子セカンド	山内 裕一 悠心道場				
特別賞	氏名	流派名	特別賞	氏名	流派名
愛媛県知事賞	三上 汰明	極真愛媛	松山市教育長賞	堀川 大心	極真愛媛
松山市長賞	三上 和久	極真愛媛	松山市教育長賞	杉江 美音	全極真
愛媛県議会議長賞	喜友名 葵	極真沖縄	松山市教育長賞	田邊 秀磨	極真愛媛
松山市議会議長賞	福田 高広	福田道場	松山市教育長賞	高見 芽生	至道会館
愛媛県教育長賞	北 光希	極真愛媛			

全国大会入賞者 戦いに向けての思いと決意

大会体験記

第29回全日本少年少女空手道選手権大会
オープントーナメントグランドチャンピオン決定戦

優勝 北 光希選手

(高校生1年生男子 無差別級の部)

初めての体験

北 光希 (今治支部)

初めてグラチャンに出場したのは小学4年生。初出場ながら準優勝できたことに自分でも驚きました。次こそは優勝すると意気込んで毎年グラチャンに臨みましたがベスト8や3位に入賞するばかりで、優勝まであと一步というもどかしい結果に何度も悔しい思いをしました。

高校生になり進学校に通っていることもあって勉学に追われ、なかなか稽古の時間を確保することが難しくなったので、今回が最後のグラチャンになるかもしれないと覚悟を決めて臨みました。最初は緊張しましたが自分の力を信じて慌てることなく、自分の組み手を貫いて勝ち上がり、やっと優勝トロフィーを受け取った時は感無量でした。

また、今回のグラチャンでは初めての体験もありました。

僕は生まれつき難聴で毎回、補聴器を外し周りの音が全く聞こえない無音の世界で試合に臨んでいた為、今までは皆が応援してくれている声も聞こえませんでした。今回のグラチャンの決勝戦では皆の大きな声援が聞こえたような感覚を感じました。こんな体験は今までで初めてでした。僕は今でもあの時、聞こえた声援が忘れられません。応援の力の大きさがどんなものなのかあの時、初めて分かった気がします。応援してくれた皆に感謝し、今度は逆に僕が応援して力に変えてあげられるようにしたいと思います。

僕も鍛錬を怠らず、これからも日々努力を継続していきたいと思います。

最後に応援してくださった戸田師範、先生方、先輩方、戸田道場の皆様、本当にありがとうございました。押忍。





極真会館 愛媛県戸田道場 修練所開設

令和6年8月24日 開所式

～青少年育成活動のメッカとして～

極真会館 愛媛県戸田道場

師範代 楠田正志

この度、極真会館愛媛県戸田道場が地元企業のご支援により、広さと設備の整った修練所を開設しましたので師範代の私をご報告致します。

戸田美智男師範は愛媛県警察の警察官として、刑事部や生活安全部を中心に勤務をされ、最後は大洲警察署長や刑事部参事官の要職に就かれ10年余りに退職されました。

警察官現職当時は凶悪事件の解決や犯罪予防、そして警察内での極真空手の普及、空手指導を通じた青少年育成活動に尽力をされました。

特に警部と警察署長として2度勤務した大洲警察署では、29年前に大洲警察署少年空手教室を設立しボランティアとして子供たちに指導を行い、さらに当時愛媛県内で皆無であった少年対象の「大洲少年空手大会」を地区防犯協会や企業からの寄付により出場料無料という画期的な大会を初めて開催されました。

大洲警察署教室は現在も継続して指導されており、大洲大会も皆さん

の支援により毎年盛大に開催が続けています。

警察官を退職時に極真会館愛媛県戸田道場を設立、県内に広く支部道場を普及させて現在に至ります。

私も警察OBですが、戸田師範と一緒に職場で働いたこともあり、戸田師範が32年前に作られた部員累計200人を超える「愛媛県警察極真空手部」の監督として、また退職後は戸田道場の師範代として松山市の三津支部、味生支部の支部長として戸田道場の活動の一翼を担っています。

戸田師範はこれら空手道を通じた長年の少年非行防止活動、青少年健全育成活動が評価されて、昨年7月20日に愛媛県非行防止対策協議会から、戸田道場が空手道を通じた非行防止に対して功労賞が授与されました。

空手組織が受賞することは初めての快挙とのことです。

私と共に2支部の師範代をしている鳥谷伸支部長と信頼関係がある

地元大企業の大野開発株式会社（大野照旺会長）がこれらの活動に感銘して、空手道による少年育成の場所として松山市三津の自社物件を大幅に改修して、戸田道場の新しい三津支部道場を合わせて「三津修練所」として無償で提供して頂いたのです。

約200畳の広さでサンドバック、更衣室、倉庫、トイレも完備しており、駐車場も100台以上止められる立派な施設であり、合同強化稽古や部内大会など多くの行事を行っています。

8月24日（土）に修練所開所式を行い、午前中は7人が受講した審判ライセンス講習会、午後は100人を超える参加者のもと修練所開設式とあわせて初稽古、その後白帯、オレンジ帯を対象にした練習試合を実施しました。

今後は有効にこの立派な施設を活用し、戸田師範を中心に青少年健全育成活動を推進したいと思います。

楠田師範代・烏谷師範代が語る

型を極めるための稽古と指導法

全日本極真「型」大会 最多入賞の秘密



年1月18日に横浜武道館で「第1回全日本極真「型」空手道選手権大会」が開催されました。

それまでは極真会館の選手のみで行われていた「全国空手道大会」を他流派にも参加を認めた初めての大会で、各地の選抜大会を勝ち抜いた約400人の選手が各クラスに分かれて頂点を目指しました。

多くの強豪が集った試合の中で極真会館戸田道場から出場した選手は次々と予選を勝ち抜き、日野聖太（小学2年生混合 高津支部）、福田ころこ（小学4年生女子の部 三津支部）、小川紗良（小学5年生女子の部 三津支部）、西森正道（小学6年生男子の部 三津支部）、濱井敦史（壮年男子60～69歳の部 師範代）の5人が優勝し、寒作智美（壮年女子40～49歳 味酒支部長）が準優勝、濱本稜斗（小学2年生混合 三津支部）が第3位に入賞するなど、優勝5人、準優勝1人、第3位が1人という驚異的な成績を上げて入賞者は全国最多でした。

多数の入賞者を輩出した原動力は優勝3人、第3位1人という素晴らしい成績を上げた三津支部で指導をされている楠田師範代と烏谷師範代であり、どのような稽古をすればいいのか、またどの様な指導したのかを詳しく教えて頂きノウハウを他の支部の参考として頂きたいと思います。

1 指導者による公認型DVDの完全マスターと指導ポイントの作成

全日本で戦うためには、DVDが型の基準となることから、まず指導する立場にある我々が、型のDVDを何回も見直し、各型のチェックポイント、審判ガイドなどを参考にして指導ポイントを作成し、それを軸にして指導にあたりました。

中でも、減点対象になるところは、特に念入りに繰り返して指導し修正に努めました。



2 稽古量を増やす工夫・基本と移動の大切さの教示

全日本の大会で勝ち上がるためには、稽古量を積み重ねる必要がありますが、普段の稽古は週2回と少ないため、稽古量を増やす工夫をしました。

- 毎日の積み重ねが大事なので、家庭でも稽古してその様子をLINE動画で送ってもらい、烏谷師範代と2人でチェックして、修正点を動画で返信し、修正すべきところを修正してもらいました。家庭での動画撮影については、保護者に家庭での稽古の必要性を説明して、協力を依頼しました。
- 大会の約2か月前から、通常の稽古開始時間の30分前から、選手に対する型の個別指導を実施しました。
- 大会の約1か月前からは、通常の稽古日以外に、型の特別稽古日を設けて、大会出場者に対して型の集中稽古を行う等して、大会に向けて稽古量を増やしました。また、「基本、移動稽古は型に通ずる」という考えから、普段の基本と移動稽古のときに、「基本と移動のときから一生懸命やらなければ型は上手にならない」旨道場生に説明し、構え方、突き蹴りの速さ、決め、姿勢など、細部にわたり、繰り返し指導を行いました。



3 メンタル面の強化策

- 上手にできたところや修正できたところは道場生の前で褒めて、また、「型の稽古量は、戸田道場内では一番多いし、みんな他の支部の道場生より上手である」等申し向けて、自信を持たせました。
- 普段の稽古終わりの黙想のときに、呼吸を少し長めにして、大きく吸ってゆっくり吐くようにして、気持ちを落ち着かせるように配慮しました。

4 合同強化稽古の実施

県内の全日本大会出場選手による合同強化稽古を3回実施しました。

合同強化稽古では、型の三要素、姿勢、立ち方、目付など基本的なことから、各型の個別の指導ポイントまで、かなり綿密な指導を行いました。3回目の強化稽古のときには、みんな技のキレが増し、顔つきも自信に満ちた顔つきに変わったように思えました。



5 選手全員のやる気・保護者の支援・戸田師範のサポート

今回、このような成果を上げることができたのは、選手全員が、真剣に型の稽古に取り組んだこと、保護者の皆さんが支えてくれたこと、そして選手を輩出した各道場責任者のみなさまが型の必要性を認識していただき、指導に当たっていただいたこと、そして、何より戸田師範自らが3回の合同強化稽古で、先頭に立ってご指導していただいたこと等、戸田道場の道場生及び保護者が一丸となって、型に取り組んだ結果だと思います。

来年の第2回大会にも、戸田道場から多数の選手が出場する予定ですが、今回の結果を上回ることができるよう、稽古に精進したいと思います。



片岡快晴（小3・高津）
全力で勝ちにいきます！！



和田鈴奈（小4・氷見）
一回一回
がんばって優勝します！



堀川大心（小5・今治）
初出場！入賞目指して頑張ります！！



高橋凜花（小学5年・本部）
全力で頑張ります！



菅陸人（小5・今治）
悔いの無い試合が出来るよう一生懸命頑張ります！

第1回オープントーナメント 国際グランドチャンピオン決定戦



白岡 陸（小5・上部）
初めての全国大会なので緊張せずにドンドン勝ち進んで優勝を狙いたいです。



兵頭海輝（中1・三津）
練習してきたことを全て出し切り、悔いのない試合をします！



上浅史人（中1・大洲）
自分の力を出し尽くして頑張ります！



白岡小夏（中1・上部）
初めてのグラチャン楽しみです。優勝目指して頑張ります。



佐伯蓮都（小5・西条）
稽古通りの組手ができる様に頑張ります。



松井瞳依（中3・今治）
技ありで勝ち進んでいけるように頑張ります。

守谷愛美（高1・今治）
初出場ですが勝利に突き進んで頑張ります！



福田ゆう（中1・上部）
優勝できるように頑張ります。



岡裕人（中3・本部）
一戦一戦に全力で挑み、今年は決勝に行けるように頑張りたいです。



西森正道（中1・三津）
実力を出し切り、今年は悔いのないように勝ち上がります！

出場者の決意



田邊秀磨（中3・上部）
最後まで諦めずに自分の組手を全うします！



岡田拓真（中2・空港通）
会場の雰囲気になじめず自分のベストを尽くして勝ちたいです！



芥川 隼（中1・西条）
7年目。そろそろ決勝まで行きたいです。



佐伯魁成（高1・本部）
今の自分を全力で出しきっていい経験にしたい！



福田心優（中3・上部）
今までの経験を生かして今度こそは優勝狙ってがんばります。

2024小学生組手団体戦

開催日：令和6年11月5日（日）
開催場所：砥部町ゆとり公園内武道場

令和6年11月5日(日)昇級審査終了後の午後から砥部町ゆとり公園内武道場において「2024極真会館愛媛県戸田道場内小学生組手団体戦」が開催されました。

この大会は、小学生が低学年と高学年に分かれて各支部の代表選手3人によるチームを作って組手団体試合を行い、県内最強のチームを決めようという目的で、2018年の第7回部内交流大会の中で初めて実施しました。

今回も各支部から選抜された1チーム3人の選手が低学年の部と高学年の部に分かれ、トーナメント方式で戦いました。仲間でもありライバルでもある支部間の戦いはいつもの個人戦とは一味違って熱い声援に会場は大いに盛り上がりました。仲間意識や武道の精神が披露された思い出の一日になりました。



低学年優勝 鷹子支部Aチーム



高学年優勝 新居浜上部Aチーム

鷹子支部Aチーム大将

秦 章翔

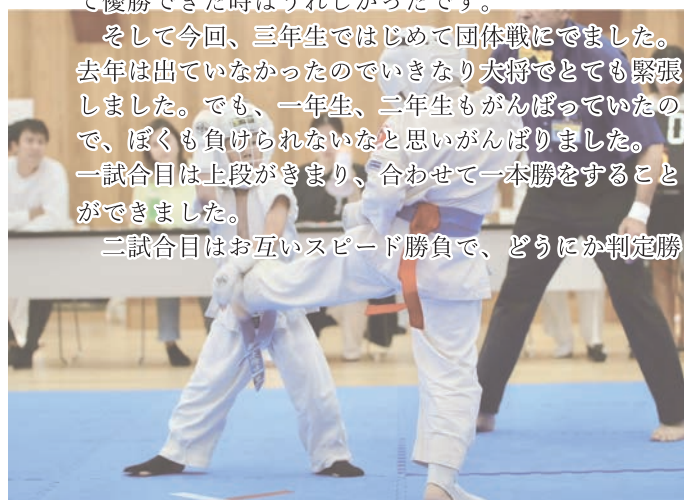
ぼくは、年長の時から空手を習い始めました。はじめたころは、コロナが流行っていて公民館が使えず稽古もあまりできていませんでした。

一年生で一番最初に出た試合は大洲大会で、まだまだ戦い方がわからなくて緊張したし、泣いてしまったりしてくやしい結果になりました。

二年生のころからは神原先生が教えてくれるようになりました。スパーリングもたくさんして稽古を積むごとに試合でも勝てるようになってきました。はじめて優勝できた時はうれしかったです。

そして今回、三年生ではじめて団体戦にでました。去年は出ていなかったのいきなり大将でとても緊張しました。でも、一年生、二年生もがんばっていたので、ぼくも負けられないなと思いがんばりました。一試合目は上段がきまり、合わせて一本勝をすることができました。

二試合目はお互いスピード勝負で、どうにか判定勝



ち。そして三試合目の決勝は同じ鷹子支部との戦いでした。

一緒に稽古をしているみんなとの決勝戦は一人で行う大会や、いつもの稽古とは雰囲気もちがいが、めちゃくちゃ緊張していました。

一年生はどちらのチームにも出ていたので引き分け。二年生が勝ってくれて、次がいよいよ最終戦でぼくの番。ぼくは背もちいさいので大きい相手にはパワーも負けてしまうけど、ぜったいに勝つぞという気持ちであきらめずにできるかぎり技を出し続けました。結果は判定で勝ち、低学年の部で優勝することができました。みんなでトロフィーも獲得でき、メダルももらえてすごくうれしかったです。

一緒に戦った一年生、二年生、それとみんなの応援が力になって優勝できたのだと思います。これからも仲間と稽古に励んでみんなで強くなっていきたいと思っています。次の団体戦も頑張ります。

◇結果◇

低学年の部

優勝 松山鷹子支部A

準優勝 松山鷹子支部B

第3位 新居浜上部・川西支部

第3位 西条氷見支部

◇結果◇

高学年の部

優勝 新居浜上部支部A

準優勝 新居浜上部支部B

第3位 松山味酒支部

第3位 西条支部

第13回 戸田道場部内交流大会

令和7年3月20日（木祝）初中級者にも勝つ喜びを味わって、自信をつけてもらいたいとの意向から、今回は出場資格を黄帯以下に限定して行いました。日時も昇級審査後に行うこととし、道場生や保護者スタッフの皆さんも参加しやすく、負担を最小限に抑えるというエコロジーな大会でした。県下各支部から中学生以下、総勢95名が参集して頂点を狙います。

午前中の昇級審査が終わり、午後に入ると続々と出場選手がアップをはじめ出し、審査時のピリピリと張りつめた雰囲気とは打って変わって、気合いの入った迫力ある動きがあらこちらで見られます。

開会式では戸田師範から「初中級らしい元気ではつらつとした組手を行い、将来大きな大会でも入賞できる子が出てくることを期

待する」との挨拶があり、選手たちは目を輝かせて話を聞いていました。

2コートに分かれて試合が開始されると、会場の声援も一段と大きくなり、選手たちのモチベーションも上がります。幼年から小学3年生までは男女混合ですが、体格も男女に差がなく、ヘッドギアをつけると性別がわからず、後ろ髪が長くなびいているのが女子かなという感じでした。

小学2年生の部で準優勝した女子の和田千珠選手（氷見）は、男子相手にスピード、パワー、そして気持ちでも負けない素晴らしい動きでした。また最激戦区の小学3年生の部で優勝した中坂要一朗選手（鷹子）は、大きな相手にも小さな相手にも自分のペースを崩さない試合運びで、今後上級への挑戦が楽しみな人材です。高学年になると少数精鋭で、初中級とはいえ激しく技を繰り出す姿は極

真魂を感じさせます。

福田こころ選手（三津）は型の全日本チャンピオンであり、その型で必要な強い体幹を活かした組手で小学4年生女子の部を制しました。まさしく型と組手はリンクしていることを証明しました。

今回の大会では、審判もできるだけ若手に経験してもらおうという趣旨から、中学生も副審に入り、主審も若い支部長たちに任せました。全審判がきびきびとした動作で、自信を持った判定を下しており、選手のみならず審判の育成にも一役買った大会となりました。道場生の保護者様スタッフも精力的にお手伝いいただき、毎回感謝申し上げます。

この大会に出場した選手たちが今後の戸田道場を盛り上げてくれることでしょう。



第13回戸田道場部内交流大会 結果一覧					令和7年3月20日			
順位	優勝		準優勝		第3位		第3位	
クラス名	氏名	支部名	氏名	支部名	氏名	支部名	氏名	支部名
幼年の部	川又 惟人	氷見	和田 優季	味生				
小学1年生の部	矢野 佑吏	氷見	鈴木 璃音	上部	中坂 映亮	鷹子	伊藤 浩太郎	西条
小学2年生の部	野本 月虎	鷹子	和田 千珠	氷見	野本 龍新	鷹子	野本 咲月	鷹子
小学3年生の部	中坂 要一朗	鷹子	秦 章翔	鷹子	矢野 杏吏	氷見	中川 琉偉	本部
小学4年生女子の部	福田 こころ	三津	玉井 ちひろ	本部				
小学4年生男子の部	藤田 陸叶	上部	阿部 光真	三津	瀧平 陸翔	味酒	仲田 陽翔	本部
小学5・6年生女子の部	芳野 穂佳	三津	渡部 結衣	三津				
小学5年生男子の部	河野 光快	味生	品川 心作	本部				
小学6年生男子の部	持田 知	味酒	奥藤 政信	味生				
中学生男子の部	岸 佑多	高津						



第25回ヤング3S 大洲空手道大会 観戦記

全日本極真「型」大会 選抜大会

2025年3月2日(日)、大洲市体育センターにて第25回ヤング3S大洲空手道大会が開催されました。今年から全日本極真「型」空手道選手権大会の選抜大会としての位置づけとなり、熊本県・兵庫県・山口県・広島県・香川県などの県外からも、他流派を含む多くの選手が参加しました。

当日は朝から雨模様でしたが、会場は次第に熱気に包まれ、保護者や応援の道場生で満員となりました。

試合開始前には、西条・西条氷見支部長である志賀賢一三段による力強い開会太鼓が鳴り響きました。その後、本田稔大洲警察署長、児玉康比呂大会会長ら来賓の挨拶が続き、少年部有志によるヌンチャク演武、戸田師範と戸田道場高段者による「転掌」の型演武が披露されました。その迫力ある演武に、会場の視線が釘付けになりました。

本大会は、選抜大会クラス(全国大会出場をかけた競技)とチャレンジクラス(初中級者対象)の2部門で進行しました。

選抜大会クラスは、点数方式の予選と決勝トーナメント方式で進行しました。予選では、5人の審判がそれぞれ10点満点で採点し、最高点・最低点を除いた3人

の合計で順位を決定します。全国大会を目指す選手ばかりのため、僅差の戦いが続きました。

決勝では、2人が同時に演武を行い旗判定で勝者を決定。審判にとっても難しい判断が求められる白熱した試合が続きました。

そんな中、戸田道場の選手たちは、1月の第1回全日本極真「型」空手道選手権大会で優勝・入賞した実力者が順調に勝ち上がり、各部門で来年の全日本大会への出場権を獲得しました。特に小学4年女子の福田ころ選手、小学5年女子の小川紗良選手、小学6年男子の西森正道選手(何れも三津支部)の3人は1月の全日本大会の優勝者でありその実力を遺憾なく発揮し圧巻の優勝でした。

また壮年女子B40～49歳の寒作智美支部長(全日本大会準優勝)と壮年男子D60～69歳の濱井師範代／支部長(全日本大会優勝)は指導者でありながら常に挑戦する姿は道場生の見本であり皆に尊敬されています。

また一般女子の部の富山莉奈選手(山口県志誠館)は他流派でありながら迫力満点の演武で観客を魅了し優勝しました。全国大会での活躍が期待されます。

チャレンジクラスは一回戦からトーナメント方式で行われました。来年、選抜大会クラスへの出場を目指す初中級の選手たちが、素晴らしい演武を披露し、今後の飛躍が期待されました。特に他流派の選手の活躍が目立ちました。これから切磋琢磨してお互いに成長していきたいですね。

又、運営には愛媛県警察極真空手道部をはじめ、多くの審判や保護者のスタッフの方々が尽力し、大会を円滑に進めるために細やかな対応をしてくれました。皆さんの支えがあったからこそ、選手たちは全力で演武に集中できたのだと感じます。

今回の大会も含め、型競技がフルコンタクト空手界に広がることが期待されています。型は、個人の技術と精神を試される競技であり、年齢や性別を問わず、その鍛錬の成果を発表できる場となります。

本大会の選抜大会クラスは、2026年1月開催予定の第2回全日本極真「型」空手道選手権大会の予選を兼ねており、上位入賞者は全日本大会への出場権を獲得しました。

また、これまで極真会館内で行われていた全日本大会も、今年から他流派の選手が参加できるオープン形式に変更され、競技の幅が広がりました。

さらに、2027年開催予定の「第6回世界大会」では、組手競技に加え「型試合」部門が初導入されることが決定しており、今後の型競技の発展が期待されています。大会を通じて、選手たちは日頃の稽古の成果を存分に発揮し、互いに技を競い合いました。そして基本動作の美しさ、気迫あふれる演武、型に込められた精神性が、観客の心を揺さぶり、空手の技術だけでなく、その精神や礼節の大切さを再認識させられる素晴らしい大会でした。来年の全日本極真「型」空手道選手権大会、そして世界大会に向け、さらなる成長が楽しみです。



第25回大洲空手道大会 入賞者一覧

選 抜 ク ラ ス	優 勝		準 優 勝		第 3 位	
幼 年 の 部	芝 軒	佳 子 極 真 桑 島 道 場	清 居	茉 央 極 真 戸 田 道 場	菰 田	那 菜 悠 心 道 場
小 学 1 年 生 の 部	芳 野	広 翔 極 真 戸 田 道 場	福 田	直 生 極 真 戸 田 道 場	阿 部	快 飛 極 真 戸 田 道 場
小 学 2 年 生 の 部	片 岡	快 晴 極 真 戸 田 道 場	濱 本	稜 斗 極 真 戸 田 道 場	日 野	聖 太 極 真 戸 田 道 場
小 学 3 年 生 男 子 の 部	中 川	幹 太 極 真 桑 島 道 場	日 吉	恵 琉 極 真 戸 田 道 場	上 山	英 真 日 本 如 水 会 館
小 学 3 年 生 女 子 の 部	横 田	華 子 道 真 会 館	大 西	ひ より 悠 心 道 場		
小 学 4 年 生 男 子 の 部	白 岡	陸 極 真 戸 田 道 場	正 木	暖 之 佑 悠 心 道 場	河 田	掲 志 吉 村 道 場
小 学 4 年 生 女 子 の 部	福 田	こ ころ 極 真 戸 田 道 場	園 部	杏 珠 悠 心 道 場	高 橋	凜 花 極 真 戸 田 道 場
小 学 5 年 生 男 子 の 部	秋 月	騎 心 極 真 戸 田 道 場	渡 部	陽 道 極 真 戸 田 道 場	中 野	太 智 極 真 桑 島 道 場
小 学 5 年 生 女 子 の 部	小 川	紗 良 極 真 戸 田 道 場	樽 古	柑 奈 悠 心 道 場		
小 学 6 年 生 男 子 の 部	西 森	正 道 極 真 戸 田 道 場	石 丸	龍 空 悠 心 道 場	兵 頭	海 輝 極 真 戸 田 道 場
小 学 6 年 生 女 子 の 部	渡 部	結 衣 極 真 戸 田 道 場	芳 野	穂 佳 極 真 戸 田 道 場		
中 学 生 男 子 の 部	寒 作	心 極 真 戸 田 道 場	田 邊	秀 磨 極 真 戸 田 道 場	井 口	尊 心 極 真 戸 田 道 場
中 学 生 女 子 の 部	石 丸	樹 里 悠 心 道 場	仙 波	優 佳 極 真 戸 田 道 場	中 本	陽 夏 乃 吉 村 道 場
高 校 生 男 子 の 部	東	悠 樹 極 真 戸 田 道 場	荒 牧	優 翔 極 真 戸 田 道 場		
高 校 生 女 子 の 部	村 上	咲 弥 極 真 戸 田 道 場				
一 般 男 子 の 部	中 田	祐 太 極 真 戸 田 道 場				
一 般 女 子 の 部	富 山	莉 奈 志 誠 館	鮫 島	凜 織 志 成 館		
壮 年 女 子 A	野 村	愛 里 佳 極 真 戸 田 道 場				
壮 年 男 子 B40～49歳	兵 頭	佑 哉 極 真 戸 田 道 場	村 上	敦 極 真 戸 田 道 場		
壮 年 女 子 B40～49歳	寒 作	智 美 極 真 戸 田 道 場				
壮 年 男 子 C50～59歳	村 上	哲 也 極 真 戸 田 道 場	小 笠 原	慎 吾 極 真 桑 島 道 場		
壮 年 女 子 C50～59歳	宮 崎	小 織 極 真 戸 田 道 場				
壮 年 男 子 D60～69歳	濱 井	敦 史 極 真 戸 田 道 場	田 中	英 二 極 真 桑 島 道 場		
チャレンジクラス	優 勝		準 優 勝		第 3 位	
小 学 1・2 年 生 の 部	笹 山	そ わ か 極 真 戸 田 道 場	笹 山	仁 和 極 真 戸 田 道 場	山 岡	夏 希 悠 心 道 場
小 学 3・4 年 生 の 部	和 田	鈴 奈 極 真 戸 田 道 場	矢 野	莉 久 悠 心 道 場	牧 野	恵 人 悠 心 道 場
小 学 5・6 年 生 の 部	濱 名	勇 真 吉 村 道 場	河 野	光 快 極 真 戸 田 道 場	西 村	尚 弥 悠 心 道 場
中 学 生 の 部	澤 口	碧 乃 悠 心 道 場				
高 校 生 以 上 の 部	矢 野	忠 太 郎 悠 心 道 場				



前列 左から 三上汰明先輩 戸田美智男師範 岡田真治顧問
後列 左 キャプテンの佐伯魁成君（3級 本部所属）

松山学院高等学校空手道部

令和7年5月26日 創設式

全国初！高校に極真空手道部創設！！

戸田道場に新たな歴史が刻まれました。待望の松山学院高等学校空手道部が正式に発足し、全国初となる極真空手の空手道部が誕生しました。

令和7年5月26日（木）に松山学院高等学校の体育館にて創設式が行われました。戸田美智男師範と本部から三上汰明先輩が駆けつけ、戸田師範からは温かく力強い激励の言葉が部員に贈られました。

その後、基本や移動、ミットなどの初稽古を行い熱い汗を流しました。

まだ部員は少数ですが、女子マネージャーの加入もあり、着実に力強い一歩を踏み出しています。

そして、顧問を務める同行の岡田真治先生ー先日、極真空手の黒帯を取得されたばかりの情熱溢れる指導者ーのもと、松山学院高校空手道部はこれから素晴らしい成長を遂げることと思われます。

極真空手の精神とともに、未来へ向けて力強く突き進んでいきましょう。

松山学院高等学校空手部創部にあたり、多大なるご尽力を賜りましたすべての皆様に、心より御礼申し上げます。

本部は、極真精神を礎をし「礼節・感謝・忍耐」の心を育む場として設立されました。人と環境で子どもたちを温かく包みながら、真の強さと優しさを身に付けられるよう努めてまいります。

そして、将来、子どもたちが空手を通じて学んだ利他の精神を实践し、豊かで実りある人生を歩めるよう支援していく所存です。

（松山学院高等学校空手部顧問 岡田真治）





極真会館愛媛県戸田道場 さらなる飛躍へ！

組織の活力アップ！ 人材のチカラを最大活用

戸田道場は今年5月で設立14年目を迎え、道場生数は県内トップに！さらに支部道場も増え、ますます勢いを増しています。組手試合・型試合ともに全国大会や各種大会で多くの入賞者を輩出し、「強豪道場」として名を馳せるようになりました。さらなる成長を目指し、4月から新しい体制で進んでいきます！



新たな支部長・副支部長の登用

若い力が加わり、道場の運営がさらに充実！各支部で新しい支部長・副支部長が就任しました。

- 松山学園高校空手道部の顧問（支部長待遇）に、同校教諭の岡田真治初段が就任。
- 西予市明浜支部を新たに発足し、支部長に野島悠何初段が就任。
- 宇和支部では、山岡忠徳支部長の退任に伴い、有馬寿也初段と野島悠何初段の二人が支部長に就任。
- 本部直轄の大洲警察署教室・内子支部も同じく、有馬寿也初段と野島悠何初段が指導責任者に。
- 松山空港通支部副支部長に荒牧基尚初段が就任し、村上敦初段との二人体制へ。
- 今治支部副支部長に山下学二段、新居浜上部支部副支部長に松木洋三初段が就任。

新たな支部長3人、副支部長3人が加わり、支部の指導体制がさらに厚くなりました。



若手選手の活躍

(1) 長年にわたり黒帯会の会長を務めてきた濱井敦史師範代が、櫻井隼斗初段（今治支部）へとバトンタッチ！これからは若い道場生の新しい発想と行動力を活かし、有段者の活動をさらに盛り上げていきます。

(2) 県内合同強化稽古の指導は、櫻井隼斗初段（今治支部）、三上和久初段（消防）、松井弥陸初段（今治支部）、三上汰明初段（本部）、小山晴緒初段（味酒支部）など、現役の若手選手にお任せし、新しい指導方法で選手たちを引っ張ってってもらいます。



筆頭師範代は2人体制に！

道場の規模が大きくなるにつれ、戸田師範を支える筆頭師範代としての濱井師範代の負担が増加。そこで、新たに杉野弘昭師範代を指名し、2人体制で組織をまとめていくことになりました。今後もよりスムーズな運営と力強いリーダーシップで道場を引っ張っていきます！



指導員・準指導員の指定と ワッペン貼付

指導の充実を図るため、有段者を「指導員」に、また指導を任せられる中学生以上の1級道場生を「準指導員」として指定しました。さらに、指導員としての役割を明確にするため、空手着の袖に「指導員」「準指導員」ワッペンを貼付！指導者としての自覚を持つと同時に、他の道場生の憧れや目標となることを目指します。また、師範代・支部長も同様に「師範代」「支部長」ワッペンを空手着に貼り、道場の組織をより明確にしました。



令和7年度 昇段審査

～気迫と絆―昇段審査の熱き戦い―



極真会館愛媛県戸田道場令和7年度昇段審査は、松山市の三津修練所にて執り行われました。

今年度は、下は中学生、上は還暦60歳までと年齢の幅が広く、合わせて11名が昇段審査に挑みました。受審者は、中学生の岡裕人君(本部)、岩城斗也君(西条)、高校生の東悠樹君(本部)、荒牧優翔君(空港通り)、そして、一般・壮年部からは岡田真治さん(空港通)、兵頭佑哉さん(三津)、玉井祐子さん(本部)、半年前に他流派から移籍された野島悠伺さん(明浜)、還暦60歳を迎えた今回最年長の矢野一志さん(高津)の9名が初段を、そして今治常盤道場の山下学副支部長が二段を、川東高津支部の高津信二支部長が三段に挑戦されました。

昇段審査の開始時間が迫る中、いつもとは違うピリピリとした空気と緊張感が会場内に広がっていました。

まずは筆記試験から始まり準備運動、基本は正拳中段突き100本から入り、移動、型と審査が進みます。審査の緊張に加え通常の稽古より本数も多く過酷な状況の中で次第に息が上がります。途中戸田師範より脱力を意識するよう注意いただき、全員がやり遂げることができました。

また、戸田師範が現役警察官だった頃、実際に凶悪犯に使われていた技の一つ【まわし受けからの崩し】が今年から審査項目に加わりました。新しい審査項目ではありましたが皆さん良く稽古されていたと思います。

続く体力審査は、ボール蹴り・開脚・足掛け立ち・棒飛び・逆立ち歩行・腕立て100回となりますが、皆さん素晴らしい出来でした。中でも高校生の荒牧君は見事全項目を成し遂げ会場に大きな歓声が湧き上がり、戸田師範からも賞賛されていました。





午後から行われた組手審査は、初段受審者は10人、二段三段はそれ以上の人数を連続して行います。

幼い頃から極真空手をはじめ、数多くの大会に出場し活躍している東君、岡君、荒牧君、岩城君の中高生の4人は、それぞれの持ち味やステップ等を活かし、強豪選手も多数いる黒帯の先生先輩方を相手に下がる事なく、若さと勢いある組手で最後まで見事にやり遂げました。

続く野島さん、岡田さん、兵頭さん、矢野さんも、その強い気持ちと気迫に溢れた組手で見事最後までやり遂げられました。そして今回唯一の女性受審者である玉井さんは最後まで果敢に組手審査に挑み、強い母親としての背中がそこにはあり感動致しました。続く山下副支部長は今年の統一戦で準優勝という肩書きを持つ強豪選手で、黒帯の先生方先輩方を相手に華麗な組手で見事に完遂致しました。最後は高津支部長でした。最後の組手では会場が一つになり高津支部長を盛り上げ、その声援に応えるよう気力を全て振り絞り気迫に溢れた組手で見事完遂し、その姿に目頭が熱くなりました。

審査の結果は後日発表となりましたが、受審者全員が合格となりました。極真会館戸田道場の900人近い入門者の中で黒帯を取得できるのは1割足らずと言われております。二段三段に至っては更に少ないと言われていた中、今回昇段された11名全員の合格は本当に素晴らしいことだと思います。極真空手の昇段審査は厳しいですが、この極限の経験を今後の自身の修行や私生活に活かして頂きたいと思います。師範もおっしゃられていましたが、初段取得が空手家としての本当の修行の始まりだと思い、真摯に空手の稽古に取り組んで頂きたいと思います。そして道場生の皆さんにも今回の受審者に続いてぜひ昇段審査に挑戦して頂き、極真空手を通して人生を豊かにして頂きたいと思います。押忍。（



我々が目指す空手とは何か！

～指導教程とは～

(一社) 国際空手道連盟 愛媛県戸田道場
代表師範 戸田美智男

はじめに

私たち極真会館戸田道場は今年5月で創設14年目に入り、支部の数は20組織に増えて、道場生数も約500人と愛媛県いや四国でも最も大きな組織の一つに育ってきました。

また、組手や型の各種大会でも非常に優秀な成績を上げていて、全国でも屈指の強豪道場となってきました。

私は設立当初から大山倍達総裁が提唱された「最強求道(くどう)の志」つまり「勝負偏重主義」を掲げて「最強の空手」を目指してきました。

併せて、単に組手の強さだけを求めるのではなく、日々の稽古を通じて心と身体の強さを磨くことにより忍耐力や自制心を身に付け、その力を日々の生活に生かすことにより、人生を豊かにして「この空手を一生続けていきたい」と思えるものにするのも大きな目的としました。

最近になってこの目的を達成するためには、稽古体系の確立と共に組織の理念や哲学(フィロソフィー)を含んだ「指導教程」が必要であると考えて、熟考しながら作成をしてきました。

今回は、「指導教程」の中での稽古体系の部分は記さずに、私の空手に対する考え方をまとめて述べますので、道場生や少年部保護者、関係者の皆様にそれを知って頂き、師範代や支部長、副支部長そして黒帯にも熟知してもらい、それに基づいて道場生を素晴らしい空手家に育てて欲しいと思っています。

1 大山倍達総裁の理念

我々は大山総裁が作られた極真空手の技の継承と共に、総裁が唱えられた「極真精神」の普及を図ることが大きな目的となります。

この「極真精神」とは総裁が書かれた技術書、人生論、武道書など66冊の著書にその内容が記されています。

その中でも総裁が亡くなった直後に発行された「極真の精神 今後の武道はどうあるべきか」(1994年7月市井社発行)の中の「極真カラテの理念」の項目に、国際空手道連盟規約草案に次の2ヶ条が載せられていてまさに極真精神の神髄だと思われます。

(1) 極真空手の精神は、頭は低く、目は高く、口慎んで心広く、孝を原点として他を益すところにある。そしてこれこそが即ち大山倍達の精神でもある。

(2) 我々は極真精神をもって、極真空手を永劫不滅のものとするべく、相互理解と協力を惜しんではいけない。

2 極真会館愛媛県戸田道場の理念・哲学と方向性

(1) 極真空手で豊かな人生を歩む

極真空手を通していかに自分の生活をより健全に、そして人生を豊かにするための一つの方法が極真空手であり「この空手を一生続けたい」と思えるものにするために、次のことを行っていくことが基本的な考えです。

①安全性

稽古で怪我をすると学校や仕事を長期に休まなければならない、退会にも繋がりますので安全性は最も大切です。

安全性を保つためには受け返しや一本組手、エアースパーリング(離れての攻防)や組手と違って技の威力をコントロールするスパーリング、またヘッドガード、チェストガード、金的カップ、拳と脛のサポーターなどの防具を着装するなど怪我をしないようにきちんと行う必要があります。

②ファミリー空手、家族とシニアと女性の空手道

我々の道場はお父さんやお母さんと子供たち、あるいは「きょうだい」など家族と一緒に道場に通っている人が沢山いて、家庭で空手が共通の話題となり仲良く共に励んで上達を目指しています。

またご保護者の方が多いということはシニアの方が多数いることに繋がり、あわせて女性の方々も非常に多くとても良い雰囲気の中で汗を流せる環境になっています。

③武道教育

空手を教える上で最も大切なことは指導者となる人物のものの考え方やその人格であるということなのです。

強い選手を育てることだけが目的になっていると、体力的あるいは技術的なことだけしか教えられずに、育てられた選手は人間的に問題がある人物になる可能性が大きいと思えるのです。

もちろん、大会に出場して良い成績を取ることを目標にすることは道場生が技や精神を磨くことに繋がることから必要ではあります。

しかし、大会に出てひとつでも多く入賞すること、それだけが指導する上での目標であることはあまりに残念なことではないでしょうか。

私は大会に出場することで得るものは沢山あるけれど、大会だけが空手の命の様な考えはおかしいと思っています。

極真空手の精神性を大切に、空手には本来は社会教育としての役割があり、空手の修行とはつまり道德教育であり、そうした大事なものが学校教育や家庭教育から失われつつある現在、道場において道德的なことを教える意義があるものと考えています。

これを教えるためには指導者は道場生に対して「言葉使い」、「礼節」、「思いやり」などをしっかりと教えるべきでしょう。

もちろん、空手の指導者全てが立派な人格者ではなく、素晴らしい人間的資質を持った人間ではありません。

だからこそ立派な人間だけが空手の指導者になれるのではなく、立派な人間に成るために最も努力しなければならないのが指導者なのです。

フルコンタクト空手界において、空手道の持つ教育的な意義が忘れ去られていることは非常に残念なことです。

空手道は社会教育であり指導者は教育者である、これを極真会館戸田道場が実行していけば大きな成果を出すことができるでしょう。

（２）瞑想（調身、調息、調心）

今まで述べてきたように空手をする最も大きな目標は、決して身体と技を作るだけではなく、空手道を通じて豊かな人生を歩むことだと思います。

瞑想というと宗教的なことを想像される方も多いと思いますが、戸田道場のそれは呼吸法を伴う瞑想と武道教育を融合させたものであると考えて頂きたいと思っています。

私の昇級、昇段審査、合宿や合同強化稽古、大会などあらゆる場面での講話はまさしく道德教育を含んだ武道教育の一環です。

併せて、少年部の保護者の方から「子供のしつけ」や学校生活の悩みの相談を受けることもよくあります。

指導者による、武道を通して知りえた武道教育を大切に思ってもらい、単に強さだけを求めるのではないことを知って頂きたい。

さて、私が言う瞑想とは何であるかを簡単に言うと、呼吸法を伴う心身統一法のことであり臍下丹田、つまり、へその下側にある丹田からゆっくりと息を吐きだし、その後に丹田にゆっくりと息を入れる呼吸法のことであり、これを繰り返しながら呼吸に心を集中して無念無想、つまり頭の中が空っぽになる境地に至ることです。

座禅の瞑想と似ていますが、全て臍下丹田、つまり臍（へそ）の下側にある丹田に息を出し入れする呼吸法を使います。

空手における息を吸い、そして丹田から一気に息を吐き出す息吹や、瞬時に息を丹田に吸い込みゆっくりと吐くのがれの呼吸表（前払い）や、のがれの呼吸裏（貫手）、そして稽古の合間に丹田に時間をかけて息を吸って静かに吐き出す呼吸法など、いわゆる『丹田呼吸法』と合気道など日本古来の呼吸法などを融合させたものを行いながら瞑想を行うものです。

古くから空手道を含め日本では下腹部を重視し、人間の本当の力はそこから生じると考えられてきました。

そのため「下腹を鍛える」とか「腹をすえる」といった言葉も生まれ、私の様に高齢になっても空手が続けられるのもこの呼吸法のお陰なのです。

戸田道場では冬と秋の合宿や年間複数回ある合同強化稽古などでも必ず瞑想を行っています。

また、私はコロナの最中には、（一社）極真会館の田畑理事長が行う「極真の呼吸」によるオンライン瞑想会に長く参加させて頂きました。

この呼吸法を使った瞑想をすることによって、酸素を多量に体に入れることから健康増進になる、集中力がつく、ストレスがなくなる、気力が充実するなどなど数えきれない効果があります。

この様に素晴らしい効果があることは、現在世界の大企業を中心にブームを起こしている瞑想による心の健康法とも言える「マインドフルネス」に通じその効果は科学的に証明されています。

その中でも最も重要なことは丹田が鍛えられて、空手のパワーが発揮できることであり武道で最も重要なことです。

（３）総括

極真空手で豊かな人生を歩むために「安全性」、「ファミリー空手、家族とシニアと女性の空手道」、「瞑想」を考え方の方向性の中心に歩いていくそれが私の思いであり、しっかりと歩いていく覚悟です。

栄えある入賞者

■第6回徳島県空手道選手権大会オアシス杯（2024/5/12 徳島県ふれアリーナみよし 日本空手道 聖空会主催）

優勝 佐伯大嘉（小6男子上級 西条）、白石将博（壮年 川東） 準優勝 堀川大心（小2男子上級 今治）、井上蒼士（小3男子初級 上部）、上浅史人（小6男子上級 大洲） 第3位 片岡快晴（小2男子上級 川東）、日野瑠太（小6男子上級 川東）、西森正道（小6男子上級 三津）

■第6回全日本空手道ジュニア新人育成選手権四国大会（2024/5/26 愛媛県武道館主道場 悠心道場主催）

優勝 渡部煌成（小2男子ルーキー 三津）、杉森真衣（小6女子ルーキー 氷見）、秦章翔（小3男子チャレンジセカンド 鷹子）、土井瑛介（小4男子チャレンジセカンド 味酒）、松本朱華（小6女子ミドルファースト 味酒）、武田禅（小5男ミドルファースト 鷹子）、佐伯魁成（中2・3男子ミドルファースト 本部）、石川瑚乃美（一般女子ミドルファースト 県警） 準優勝 高須賀大和（小2男チャレンジファースト 鷹子）、和田鈴奈（小3女子ミドルファースト 氷見）、柳原朔哉（小6男子チャレンジファースト 今治）、兵頭海輝（小6年男子ミドルセカンド 三津）、渡部結衣（小6女子チャレンジファースト 三津）、秦瑞来（中1男ミドルファースト 鷹子） 第3位 瀧平寛人（小2男子ルーキー 味酒）、野本月虎（小2男チャレンジファースト 鷹子）、日吉恵琉（小3男子ルーキー 本部）、矢野杏吏（小3女子ルーキー 氷見）、高津啓輔（小3男子チャレンジファースト 今治）、小西奏大（小3男子チャレンジセカンド 今治）、池田郁翔（小4男子チャレンジファースト 本部）、野本朔弥（小4男子チャレンジセカンド 鷹子）、西濱政希（小5男子チャレンジセカンド 本部）、原田朔矢（中1男子ミドルファースト 今治）

■あすなろ杯三重県空手道錬成大会（2024/6/9 三重県四日市市三滝武道館 極真会館三重橋本道場主催）

型の部 優勝 寒作智美（壮年女子Bの部 味酒）

■第5回オープントーナメント全日本空手道選手権大会（2024/7/7 大阪舞洲アリーナ 極真会館中村道場主催）

第3位 福田心優（中学生女子無差別級 上部）

■リアルチャンピオンシップ愛媛県予選大会（2024/7/7 砥部町陶海道ゆとり公園武道場 道真会館主催）

優勝 高橋瑛徳（中1男子軽量級上級 本部）、浅海愛夢（中1女子重量級上級 上部） 準優勝 佐伯蓮都（小4男子上級 西条）、佐伯大嘉（小6男子上級 西条）、白岡小夏（小6女子上級 上部）、伊藤陸（中2.3男子軽量級上級 今治） 第3位 秦章翔（小3男子初中級 鷹子）、高橋凜花（小4女子上級 本部）、野本明那（小5女子初中級 鷹子）、岡田拓真（中1男子重量級上級 空港通）



■第12回空手道「捌」選手権大会（2024/7/21 八幡浜市民スポーツセンター1階メインアリーナ 中元會館主催）

優勝 松井瞭誠（高校生男子軽量級 今治） 準優勝 井上蒼士（小3男子初級 上部）、松本朱華（小6女子 味酒）

■第28回香川県空手道選手権大会（2024/7/28 高松市総合体育館第2競技場 極真会館香川県桑島道場主催）

優勝 佐伯蓮都（小4男子 西条）、高橋凜花（小4女子 本部）、白岡小夏（小6女子 上部）、松井瞳依（中2.3女子 今治）、中野結翔（高1.2男子 空港通）、芥川光宏（壮年の部A 西条）、濱井敦史（壮年の部B 上部）、小山晴渚（一般女子の部 味酒） 準優勝 堀川大心（小2男子 今治）、和田鈴奈（小3女子 氷見）、福田ゆう（小6女子 上部）、中尾拓那（一般新人の部 上部）、白石将博（壮年の部A 川東）、高津信二（壮年の部B 川東） 第3位 田邊秀磨（中2.3男子 上部）、岡裕人（中2.3男子 本部）、山下学（壮年の部A 今治）、松木洋三（壮年の部A 上部） 敢闘賞 佐伯魁成

■第2回カシエルカップ（2024/8/10 新居浜市市民体育館 正道会館 KCIEL 主催）

優勝 秦章翔（小3男子初級 鷹子）、八木結聖（小5男子初級 今治）、野本朔弥（小4男子中級 鷹子） 準優勝 堀川大心（小2男子26kg以上上級 今治） 第3位 中坂映亮（小1男子初級 鷹子）、井上慶士（小2男子初級 上部）、野本月虎（小2男子初級 鷹子）、中坂要一朗（小3男子初級 鷹子）、高橋凜花（小4女子32kg未満上級 本部）

■第1回ダイワハウスプレゼンツ フルコンタクトチャレンジカップ（2024/8/18 愛媛県武道館剣道場 河野道場主催）

優勝 佐伯蓮都（小4男子上級 西条）、高橋凜花（小4女子上級 本部）、佐伯大嘉（小6男子上級 西条） 準優勝 上浅史人（小6男子上級 大洲）、松本朱華（小6女子上級 味酒） 第3位 伊藤浩太郎（小1男子ルーキー 西条）、眞田結晟（小4男子初中級 氷見）、浅海琥雅（小4男子上級 上部）、西濱政希（小5男子初中級 本部）



■悠心型チャレンジカップ四国大会 2024（2024/8/25 愛媛県武道館柔道場 悠心道場主催）

優勝 芳野広翔（小1中級 本部）、日野聖太（小2中級 川東）、櫻田志歩（小4初級 内子）、福田こころ（小4中級 三津）、小川紗良（小5上級 三津）、西森正道（小5上級 三津）、村上晴紀（中学生上級 本部）、東悠樹（高校生上級 本部） 準優勝 濱本稜斗（小2中級 三津）、渡部結衣（小6中級 三津） 第3位 山本響生（小2中級 高津）、日吉恵琉（小3中級 本部）、土井瑛介（小4中級 味酒）、東大翔（小6上級 本部）、小西亜希（一般部中級 今治）

■第1回香川県型空手道選手権大会（2024/11/23 高松市総合体育館 極真会館桑島道場主催）

優勝 芳野広翔（小1 本部）、日野聖太（小2 川東）、土井瑛介（小4男子 味酒）、櫻田志歩（小4女子 内子）、小川紗良（小5女子 三津）、渡部結衣（小6女子 三津）、村上晴紀（中学生男子 本部）、東悠樹（高校生男子 本部）、村上咲弥（高校生女子 空港通）、志賀賢一（一般男子 西条）、武智百香（一般女子 本部）、村上哲也（壮年男子B 県警）、丹下英人（壮年男子C 県警）、寒作智美（壮年女子B 味酒） 準優勝 寒作心（中学生男子 本部）

■2024 極真カラテ全中四国交流大会（2024/11/23 高松市総合体育館 極真会館桑島道場主催）

優勝 高須賀大和（小2 鷹子）、白岡陸（小4中・上級 上部）、野本明那（小5女子中・上級の部 鷹子）、井口尊心（中2.3男子 三津）、丹下英人（壮年男子 県警）、志賀賢一（一般男子 西条） 準優勝 星加遥希（小3初級 西条）、眞田結晟（小4初級 氷見）、浅海琥雅（小4中・上級 上部）、日野瑠太（小6中・上級 川東） 第3位 滝野琥太郎（小2 高津）、白石優吏菜（小3初級 鷹子）

■第7回静岡県極真空手道交流試合（2024/11/24 熱海マリンホール 極真会館静岡県山口道場主催）

優勝 芥川光宏（組手壮年男子上級 西条）



■第25回愛媛県少年空手道選手権大会（2024/12/1 ウェルピア伊予体育館 正道会館四国本部主催）

優勝 中坂要一郎（小3男子チャレンジ 鷹子）、河野光快（小5男子ルーキー 味生）、野本明那（小5女子チャレンジ 鷹子）、渡部結衣（小6女子チャレンジ 三津） 準優勝 眞田廉晟（小1男子ルーキー 氷見）、白石優吏菜（小3女子ルーキー 鷹子）、高橋凜花（小4女子チャンピオン 本部）、杉森真衣（小6女子チャンピオン 氷見）、秦瑞来（中1男子チャンピオン 鷹子） 第3位 和田千珠（小2女子ルーキー 氷見）、渡部煌成（小2男子チャレンジ 三津）

■第11回四国中央空手道選手権大会 敬心杯（2024/12/8 伊予三島市運動公園体育館 日本空手道敬心館主催）

優勝 伊藤陸（小3男子チャンピオン軽量級 今治） 準優勝 菅陸人（小4男子チャンピオン重量級 今治）、白岡小夏（小6女子チャンピオン

軽量級 上部) 田邊秀磨(中2男子チャンピオン重量級 上部) 第3位 伊藤浩太郎(小1男子ビギナーズ 西条)、白岡陸(小4男子チャンピオン軽量級 上部)、佐伯蓮都(小4男子チャンピオン重量級 西条)

■大阪城杯冬の陣(2025/01/12 大阪市立中央体育館 極真会館関西総本部主催) 優勝 福田心優(中2女子 上部) 第3位 白岡陸(小4男子軽量級 上部)、福田ゆう(小6女子 上部)



■第9回ローズカップ(2025/02/16 エフピコアリーナふくやま 日本空手道志琉会主催)

優勝 伊藤めいこ(小4女子初級 西条)、伊藤陸(中3男子60kg未満 今治) 第3位 小西奏大(小3男子中級 今治)、白岡陸(小4男子30kg未満上級 上部) 福田ゆう(小6女子40kg以上上級 上部)

■第6回極真カラテ広島親善交流試合(2025/02/23 東広島運動公園1F 武道場 極真会館広島県宗政道場主催)

型の部 優勝 日野聖太(小学生低学年 川東)、小川紗良(小学生高学年 三津)、志賀賢一(中学生〜一般 西条)

組手の部 優勝 佐伯蓮都(小4男子上級 西条)、八木結聖(小5男子初級 今治)、田邊秀磨(中学生男子重量級 上部) 準優勝 井上蒼士(小3上級 上部)、白岡陸(小4男子上級 上部)、高橋凜花(小4女子上級 本部) 第3位 井上慶士(小2男女混合 上部)

■2025 京都大会(2025/03/9 京都市武道センター 極真会館関西総本部主催)

優勝 志賀賢一(一般男子上級 西条) 第3位 佐伯大嘉(小6男子軽量級 西条)

■第2回リアルファイト空手道交流大会(2024/3/29 松山市坊っちゃんスタジアムスポーツフロア 武道塾主催)

優勝 片岡宏泰(一般男子重量級 川東)

■第28回日本正統求道拳法選手権大会 讃岐富士杯(2025/3/30 坂出市立体育館 無門塾主催)

優勝 高橋凜花(小4女子軽量級 本部)、白岡小夏(小6女子軽量級 上部) 準優勝 和田鈴奈(小3女子 氷見)、藤田愛梨(小3女子 上部)、白岡陸(小4男子軽量級 上部) 第3位 伊藤浩太郎(小1男子 西条)、井上蒼士(小3男子 上部)、上浅史人(小6男子重量級 大洲)、近藤悠誠(小6男子重量級 今治)、福田ゆう(小6女子重量級 上部)、伊藤陸(中3男子軽量級 今治)



令和 7 年度 強化指定選手

(組手の部)

コロナが収束して大会出場が多かったためか、多くの道場生が大会に出場し優秀な成績を収め過去最多の人数でした。

強化選手 A の指定者の人数は昨年より 7 人も増え 18 人でした。新規指定が 14 人ですが国際親善大会が開催されて入賞者が増えたこともあります。しかし、連続して指定されたのは 4 人だけで A を継続することがいかに難しいかが分かります。

強化選手 B の指定者の人数も 27 人と昨年より 7 人増え、その内 19 人が新規指定であり、小中学生の育成が進んでおり、次のステップとして A 指定を狙う選手が多く含まれています。

強化選手 A,B 指定の多くは上部、今治、西条、本部道場が占めていますが新たに鷹子も増えてきました。

この強化選手たちが今後どのように成長し、全国や世界の舞台上で活躍していくのか、期待が膨らみます

【組手強化選手 A】18 人

三上和久（一般男子 本部 継続）、三上汰明（一般男子 本部 新規）、松井弥陸（一般男子 今治 継続）、小山晴緒（一般女子 味酒 新規）、神原敏行（壮年 今治 新規）、志賀賢一（壮年 西条 継続）、芥川光宏（壮年 西条 新規）、北光希（高 2 男子 今治 新規）、岩城斗也（中 3 男子 西条 新規）、岡田拓真（中 2 男子 空港通 継続）、上浅史人（中 1 男子 大洲 新規）、福田ゆう（中 1 女子 上部 新規）、白岡小夏（中 1 女子 上部 新規）、佐伯大嘉（小 6 男子 西条 新規）、浅海琥雅（小 5 男子 上部 新規）、菅陸人（小 5 男子 今治 新規）、佐伯連都（小 4 男子 西条 新規）、堀川大心（小 3 男子 今治 新規）

【組手強化選手 B】27 人

松木洋三（壮年 上部 降格）、山下学（壮年 今治 継続）、白石将博（壮年 高津 新規）、濱井敦史（壮年 上部 新規）、松井瞭誠（一般男子 今治 新規）、伊藤陸（高 1 男子 今治 継続）、佐伯魁成（高 1 本部 新規）、岡裕人（中 3 本部 新規）、田邊秀磨（中 3 男子 上部 新規）、高橋瑛徳（中 2 男子 本部 新規）、福田心優（中 3 女子 上部 継続）、浅海愛夢（中 2 女子 上部 継続）、芥川國（中 1 男子 西条 継続）、西森正道（中 1 男子 三津 継続）、兵頭海輝（中 1 男子 三津 新規）、日野瑠太（中 1 男子 川東 新規）、松本朱華（中 1 女子 味酒 新規）、武田禅（小 6 男子 鷹子 新規）、八木結聖（小 6 男子 今治 新規）、野本明弥（小 6 女子 鷹子 新規）、別宮麗羽（小 6 女子 今治 新規）、白岡陸（小 5 男子 上部 新規）、野本朔弥（小 5 男子 鷹子 新規）、高橋凜花（小 5 女子 本部 降格）、和田鈴奈（小 4 女子 氷見 新規）、高須賀大和（小 3 男子 鷹子 新規）、片岡快晴（小 3 男子 川東 新規）

(型の部)

型の強化選手は A のみであり今年は 5 人が指定されました。

型試合は組手と比べると他流派の大会を含めて少なく、入賞するチャンスもあまりなく、国際親善大会と香川県大会や全国型大会で上位の成績をあげた選手が指定されました。

今年の 1 月 19 日（土）には第 1 回オープントーナメント型全日本大会が横浜武道館で開催され、多くの優勝者を輩出しました。さらに、全国でも選抜大会が開催されており出場の機会も増えて益々強化選手が増えることが予想されます。

【型強化選手 A】5 人

寒作智美（壮年女子 味酒支部支部長 継続）、村上晴紀（中 3 男子 本部 新規）、寒作心（中 2 男子 本部 継続）、渡部陽道（小 6 男子 三津 継続）、日野聖太（小 3 男子 川東 新規）

組手強化指定選手 A に指定される条件

- ① 全日本少年少女空手道選手権大会～グランドチャンピオン決定戦の権利取得大会で準優勝以上、あるいは（一社）極真会館主催の指定大会（香川県極真カラテ交流大会、広島親善試合等）の上級の部で準優勝以上をそれぞれもしくは組み合わせて 2 回以上入賞した場合。
 - ② 一般部・壮年部はこれ以外に全日本ウェイト制空手道選手権大会、全日本空手道選手権大会で 8 位以内の入賞、高校生以下は全日本少年少女空手道選手権大会グランドチャンピオン決定戦で 3 位以内に入賞すれば 1 回で指定される。
- ◆組手強化指定選手 A に指定された選手は合宿費の免除、（一社）極真会館主催大会の出場料全額負担、全日本大会の旅費やその他海外の大会出場時の旅費の一部負担などの支援を得られる。

組手強化指定選手 B に指定される条件

- ① 四国選抜大会、（一社）極真会館主催の大会、及び他流派の四国選抜空手道選手権大会と同等な大会において 4 位以上入賞を年間 2 回以上した場合（初級を除く）
 - ② 四国選抜大会（一社）極真会館主催の大会、及び他流派の四国選抜大会と同等な大会の初級の部で優勝を 2 回以上した場合
 - ③ あるいは①、②を組み合わせて年間 2 回以上入賞した場合。
- ◆組手強化選手 B に指定された選手は合同強化稽古の参加費が免除される。

強化指定選手 A に指定される条件 ※型の強化指定選手は A のみ

- ① （一社）極真会館加盟道場が主催するオープントーナメント全日本型選手権大会の権利取得大会で優勝を年間 2 回以上した場合
 - ② オープントーナメント全日本型選手権大会で入賞（各クラス出場人数で入賞者が決まるため）
- ◆型強化選手 A に指定された選手は合宿費の免除、型合同強化稽古の参加費免除、（一社）極真会館主催する型大会の出場料全額負担、全日本型大会の旅費一部負担などの支援が得られる。

昇級審査合格者

【令和6年6月9日(日) ウェルビア伊予体育館】

少年部 62人

◇1級 高橋瑛徳(本部) ◇2級 芥川團(西条)、土井湊太(味酒)、小川紗良(三津) ◇3級 玉井悠翔(西条)、高橋拓真(西条)、東大翔(本部)、兵頭海輝(三津)、渡部陽道(三津)、石丸遙煌(鷹子)、逢阪怜裕(鷹子) ◇4級 古江理人(味酒)、荒牧晃希(空港通)、伊與田恵士(味生)、野本明那(鷹子)、武田禪(鷹子) ◇5級 中根丈太朗(西条)、高橋凜花(本部)、阿部光真(三津)、吉田藍人(三津)、岡林蓮(味生) ◇6級 玉井陽翔(西条)、高橋葉菜(西条)、別宮麗羽(今治)、別宮希琉(今治)、小西奏大(今治)、品川心作(本部)、與三川陽翔(空港通)、中坂要一朗(鷹子)、一色爽司(鷹子) ◇7級 杉森真衣(氷見)、和田鈴奈(氷見)、山本絢華(今治)、芳野翔馬(本部)、日吉恵琉(本部)、野本咲月(鷹子)、立石佳愛(鷹子) ◇8級 芳野広翔(本部)、玉井ちひろ(本部)、渡部煌成(三津)、石丸凌空(鷹子)、中坂映亮(鷹子) ◇9級 岸佑多(川東)、櫻田一心(上部)、呂衣汝(西条)、杉森翔太(氷見)、眞鍋嘉宏(氷見)、眞田結晟(氷見)、矢野杏吏(氷見)、永井悠輝(今治)、峯雪初依(今治)、小林耶茉杜(今治)、平岡力樹(本部)、仲田陽翔(本部)、阿部快飛(三津)、門屋勇李(大洲) ◇10級 櫻田峻心(上部)、山崎理史(西条)、弓山煌心(西条)、矢野佑吏(氷見)、眞鍋元宏(氷見)、高橋陽風汰(本部)

一般部 19人

◇1級 大滝晃平(上部)、伊藤陸(今治)、玉井祐子(本部)、仙波優佳(本部)、兵頭佑哉(三津)、岡田真治(空港通) ◇2級 蘆谷幹也(川東) ◇3級 玉井亮史(西条)、野村愛里佳(味酒) ◇4級 守谷愛美(今治)、関野京一(今治)、佐伯魁成(本部)、一色翼(鷹子) ◇6級 山本昂汰(今治)、小西亜希(今治) ◇7級 高橋颯太(今治) ◇8級 野本絢香(鷹子) ◇9級 日野慎太(川東)、岡本龍弥(本部)

【令和6年11月4日(月・祝) 砥部町陶街道ゆとり公園内武道場】

少年部 61人

◇1級 寒作心(本部) ◇2級 宮崎悠一郎(本部)、秦瑞来(鷹子)、秋月騎心(味生) ◇3級 佐伯大嘉(西条)、原田朔矢(今治)、谷口莉駒(今治)、越智隆史朗(味酒) ◇4級 高石真佐斗(上部)、浅海琥雅(上部)、西濱政希(本部)、二宮新太(本部)、高橋凜花(本部) ◇5級 藤田陸叶(上部)、白岡陸(上部)、佐伯蓮都(西条)、土井瑛介(味酒)、河野光快(味生)、白石晴都(内子) ◇6級 滝野琥太郎(高津)、山本響生(高津)、井上蒼士(川西)、井上慶士(川西)、菅陸人(今治)、榎蓮斗(今治)、中川琉偉(本部)、池田郁翔(本部)、濱本稜斗(三津)、渡部結衣(三津)、井口心葵(三津)、秦章翔(鷹子)、増田令(大洲) ◇7級 李子丞(川東)、櫻田一心(上部)、越智瑛介(西条)、堀川大心(今治)、池田仁華(本部)、野本朔弥(鷹子)、高須賀大和(鷹子)、野本龍新(鷹子)、野本月虎(鷹子)、櫻田志歩(内子) ◇8級 鈴木璃音(上部)、井住翼佐(三津)、和田一真(本部) ◇9級 櫻田峻心(上部)、高木美来(氷見)、笠松拓矢(本部)、岡本怜旺(本部) ◇10級 伊藤浩太郎(西条)、高木栄汰(氷見)、眞田廉晟(氷見)、仲田怜翔(本部)、梶原彪真(本部)、青木瑛太(本部)、石川涼介(鷹子)、井手心結(鷹子)、石丸大暉(鷹子)、立石恭資(鷹子)、白石茉那香(鷹子)、小池澄音(宇和)

一般部 22人

◇1級 日野煌太(川東)、白石悠翔(高津)、榎祐輔(今治)、井口尊心(三津)、石川瑚乃美(県警) ◇2級 浅海愛夢(上部)、近藤恵(今治)、村上一琉(本部)、武智百香(本部)、西野心陽(空港通) ◇3級 横道葵衣(本部)、小池一平(宇和) ◇4級 中田祐太(味酒) ◇5級 星加晃志(西条) ◇6級 本田正弘(三津) ◇8級 中尾拓耶(上部)、安丸 幸希(上部)、片岡宏泰(高津)、谷口愛莉(今治)、末廣充(味酒) ◇9級 中谷心結(本部)、福柟もも(空港通)

【令和7年3月20日(木・祝) 愛媛県武道館剣道場】

少年部 64人

◇1級 西森正道(三津) ◇2級 兵頭海輝(三津)、石丸遙煌(鷹子)、上浅史人(大洲) ◇3級 安井祐貴(今治)、近藤悠誠(今治)、荒牧晃希(空港通)、福田ころこ(三津) ◇4級 八木結聖(今治)、芳野穂佳(三津)、阿部光真(三津)、久保田颯介(味生) ◇5級 日野聖太(川東)、片岡快晴(高津)、別宮麗羽(今治)、別宮希琉(今治)、小西奏大(今治)、品川心作(本部)、中坂要一朗(鷹子)、杉森真衣(氷見)、和田鈴奈(氷見) ◇6級 芳野翔馬(本部)、日吉恵琉(本部)、芳野広翔(本部)、人見遙紀(味酒) ◇7級 鈴木璃音(上部)、杉森翔太(氷見)、矢野杏吏(氷見)、玉井ちひろ(本部)、仲田陽翔(本部)、平岡力樹(本部)、渡部煌成(三津)、石丸凌空(鷹子)、中坂映亮(鷹子)、冲江歩(大洲)、門屋勇李(大洲) ◇8級 矢野佑吏(氷見)、峯雪初依(今治)、小林耶茉杜(今治)、峯雪遥毅(今治)、菅希良(三津)、阿部快飛(三津)、兵頭湊人(三津)、野本琥珀(三津)、久保田恭平(味生) ◇9級 藤田愛梨(上部)、伊藤めいこ(西条)、越智勇仁(氷見)、和田千珠(氷見)、渡部冠妃(今治)、加藤光(本部)、福田直生(三津)、白石優吏茉(鷹子)、笹山仁和(大洲)、笹山そわか(大洲)、清居茉央(大洲) ◇10級 尾崎立樹(川西)、伊藤慈桜(氷見)、森武由羽(味酒)、小野俊介(味酒)、鈴木陽加里(味酒)、野村吹喜(味酒)、西田弦ノ介(味生)、冲江旬(大洲)

一般部 12人

◇1級 右近勝夫(本部)、野島悠伺(本部) ◇2級 安井大祐(今治) ◇3級 辻田道晴(川西)、守谷愛美(今治)、竹本遙空(三津)、阿部杏香(三津) ◇4級 小西亜希(今治) ◇5級 李子墨(川東) ◇7級 日野慎太(川東) 岸佑多(高津)、岡本龍弥(本部)





トピックス

戸田道場の活動や、道場生の活躍をピックアップ！



戸田道場強化稽古～越智晴雄選手が特別講師として参加

令和6年6月2日

極真会館愛媛県戸田道場で強化稽古を行いました。

なんと、DEEPストロー級王者の越智晴雄選手が特別講師として来てくださいました。越智選手はRIZINにも出場しており、しかもRIZINで無敗を誇る強豪選手です。皆さんにとって、とても貴重な学びの機会となりました。



今治市長表敬訪問

令和6年5月23日

第二回オープントーナメント全日本極真空手道選手権大会シニア男子(40歳から47歳)重量級の準優勝の報告として今治市の徳永繁樹市長を表敬訪問しました。



愛媛県知事表敬訪問

令和6年6月6日

第二回オープントーナメント全日本極真空手道選手権大会シニア男子(40歳から47歳)重量級の優勝及び準優勝の報告として愛媛県の中村時広知事を表敬訪問しました。中村知事も大変喜んでくれました。優勝した志賀選手及び準優勝した神原選手は今年8月にカザフスタン共和国で開催されるアジア大会に出場が決まっています。両選手とも日本代表として全力を尽くし、また中村知事に良い報告ができるように頑張ると誓いました。



戸田道場に愛媛県非行防止対策協議会から表彰

令和6年7月26日

愛媛県警察本部で開催された「令和6年愛媛県非行防止対策協議会総裁」において、長年空手道を通じて少年の非行防止、健全育成活動を長年に亘り、組織的に推進した極真会館戸田道場の活動に対して評価され、日野二郎会長から代表者の戸田師範に表彰が授与されました。この表彰を空手道場が表彰を受けることは初めてのことで、戸田道場だけでなくフルコンタクト空手界にとっても名誉なことです。



新居浜上部支部 常設道場開設

令和6年9月8日

新居浜上部支部の常設道場が開設され道場開きが行われました。戸田師範をはじめ、愛媛県東予地区の支部長、副支部長、道場生、そして保護者の皆さま、御出席いただき誠にありがとうございました。



令和6年秋合宿開催

令和6年9月14日・15日

まだまだ残暑が厳しい9月中旬、秋合宿が開催されました。初日は基本、移動、型を一通り行ったあと、各クラスに分かれてミットやスパarringで汗を流しました。2日目は連合会で統一された型を身につけるため、さらに細かく一挙手一投足の動きを確認しながら稽古に励みました。支部対抗レクリエーションでは子供達に混ざって大人も童心に返り、景品のミット争奪戦を本気で楽しんでおりました。2日間寝食を共にすることにより得られる経験は、とても大切な事を教えてくれ自分自身の財産となりました。



今治市長表敬訪問

令和6年9月18日

北光希選手の全日本大会優勝と神原支部長のアジア大会準優勝の報告のため、今治市を表敬訪問しました。当初は今治市長にご対応いただく予定でしたが、急な要務のため今治市の教育長にご対応いただきました。今後も県や各市町の教育委員会と連携し、子供たちの未来に貢献できるよう、極真会館愛媛県戸田道場は全力を尽くします。



今治市スポーツ大賞及びスポーツ賞の授賞式

令和6年11月2日

今治市スポーツ大賞及びスポーツ賞の授賞式がありました。今治市の選手3名が受賞し、極真会館愛媛県戸田道場の北光希選手がスポーツ賞を受賞しました。スポーツ大賞は東京パラリンピック金メダリストでパリパラリンピック銅メダリストの山口尚秀さんが受賞。パリパラリンピックメダリストと肩を並べての受賞、おめでとうございます。徳永市長、ありがとうございました。



全日本大会に向けて 合同型・組手強化稽古

令和6年12月21日

令和7年1月に開催された全日本型空手道選手権大会と統一全日本大会に備えて、午前中は修練所で型、午後は新居浜上部支部で組手の合同強化稽古を行いました。また、戸田師範より全日本大会に出場する選手たちに支援金が手渡されました。



令和7年冬合宿開催

令和7年2月1日・2日

えひめ青少年ふれあいセンターにて、2日間に渡る冬合宿を開催しました。体育館で行われた稽古は厳しい寒さにもかかわらず、皆の熱いエネルギーと決意でやり遂げることができました。戸田師範から直接指導を受け、普段自分たちだけでは経験できないような稽古をしました。また、他の支部の道場生との交流もこの経験をさらに深めてくれました。



令和7年度寒行開催

令和7年2月2日

冬合宿終了後、北条の鹿島神社に集合し、海岸まで走り寒行を行いました。愛媛マンダリンパイレーツの選手やイワキテック野球部の選手も参加し、130名という過去最高の参加人数となりました。令和7年を駆け抜けるのに相応しい、熱気と気迫のこもった寒行となりました。



新居浜市長表敬訪問

令和7年2月12日

第1回全日本極真型空手道選手権大会に出場した新居浜川東支部の日野聖太選手(小学2年混合の部)と上部・川西支部長の濱井敦史選手(壮年男子60～69歳の部)が戸田師範、高津支部長と共に古川拓哉新居浜市長に優勝の報告を行いました。古川市長も極真空手経験者であり、終始和やかに会談が行われ、今後の活躍を期待されました。両名とも来年も連覇目指して稽古に励むと力強く応えていました。

ファミリー・レディース・シニア合同セミナー

令和6年1月8日

昨年に続き「ファミリー・レディース・シニア合同セミナー」を行い、その後帯研を行いました。どちらも日頃の組手強化稽古ではなく、型の分解や、セルフデフェンス、正しい息吹のやり方、そして瞑想など、我々が目指す「一生空手を続けたい」と思ってもらえる意義のある稽古を行いました。

西条市長表敬訪問

令和7年2月14日

第3回オープントーナメント全日本極真空手道選手権大会の優勝報告のため、戸田師範と志賀支部長が西条市の高橋敏明市長を表敬訪問しました。市長は国際親善に深い関心を持たれ、私たちの国際セミナーや志賀支部長のオーストラリアワールドカップについても興味を示されました。また、医師としての経験を活かし、志賀支部長に怪我のアドバイスをくださいました。



今治市長表敬訪問

令和7年2月26日

第3回オープントーナメント全日本極真空手道選手権大会の山下学選手の準優勝(男子シニア軽量級)及び神原選手の第3位(男子シニア重量級)の報告のため今治市の徳永繁樹市長を表敬訪問しました。準優勝した山下選手は今治市の消防官であり、徳永市長に大変喜んでいただきました。



令和6年度
まつやま笑顔大賞

令和7年3月1日
松山市役所において、まつやまスポーツ笑顔大賞の表彰式が行われました。スポーツや武道で全日本大会で優勝など優秀な成績を残した選手を表彰するものです。戸田道場から選手として志賀支部長、神原支部長、北光希君が、指導者としては戸田師範が野志市長から表彰されました。



松山市小学生全国大会出場者壮行会

令和7年3月9日
令和6年度松山市小学生春季全国大会出場者壮行会が開催されました。グラチャン大会に出場する2人が出席し、野志市長から励ましの言葉をいただきました。



愛媛県障害者スポーツ協会 表彰式

令和7年3月1日
愛媛県障害者スポーツ協会表彰式が開催され、極真会館愛媛県戸田道場の北光希選手が栄えある受賞を果たしました。北選手の努力と熱い志が認められ、輝かしい瞬間となりました。さらに、パリパラリンピック銅メダリストの山口尚秀選手、そしてパラ女子柔道史上初の日本人金メダリストとなった廣瀬順子選手という、日本が誇る偉大なアスリートたちと共に表彰されました。



坊ちゃんスタジアムでマンダリンパイレーツ応援演武

令和7年5月29日
愛媛マンダリンパイレーツのホーム開幕戦で、応援演武をさせていただきました。四国アイランドリーグplus20周年という記念すべきシーズンのご健闘を祈り、気合の入った大きな声が広い球場で響き渡りました。



塩崎彰久衆議院議員が潮見本部の稽古体験

令和7年4月28日

本部稽古に塩崎彰久衆議院議員が参加されました。塩崎先生は戸田師範との交流があり、(一社)極真会館の世界大会を初め、全日本統一空手道大会や全日本極真「型」空手道選手権大会の大会会長に就任して頂いています。以前から「極真空手の大会会長をしているからには、実際に稽古を体験してみたい」とおっしゃっていて今回遂に実現したことになります。戸田師範がプレゼントした空手着を着て、約30人の道場生と共に懸命に技を繰り出し汗まみれになりました。稽古後には子供たちと話をし、交流を深めました。国会議員としてお忙しい中、稽古に参加される真摯な姿に道場生のみんなは驚き、喜びすてきな体験ができました。



愛媛県副知事表敬訪問

令和7年3月13日

大記録を残した第1回全日本極真型大会。戸田師範と優勝者5名(日野聖太、福田ころこ、小川紗良、西森正道、濱井敦史)が愛媛県庁を訪れ、濱里要副知事に栄えある結果を報告しました。初めに戸田師範から表敬させていただいたことのお礼を申し上げ、大会結果の報告を行いました。濱里副知事は県内の空手道場が全国で活躍したことを大変評価し頼もしく感じられたようで、5名全員が副知事の前で型を披露しました。また報道でも大きく取り上げられ、今後の活躍を期待されました。



西予市明浜支部新規開設

令和7年5月22日

西予市明浜支部が新しく開設し、明浜町高山体育館にて開設式を行いました。支部長には長年、明浜町で熱心に活動が続けてこられた野島悠何支部長が就任しました。その経験と情熱が支部を力強く導いてくれることでしょう。大洲警察署教室、内子、宇和支部に続き、南予地域に極真空手がさらに根付いていくことが期待されます。



組手合同強化稽古

令和7年5月11日

愛媛武道館剣道場にて組手合同強化稽古を開催しました。100人を超す参加者があり、試合経験や実力に応じて初・中・上級のグループに分かれ、それぞれのレベルに合わせた稽古を行いました。特に上級クラスでは、現役の全日本大会出場選手が中心となり指導を担当。若い選手たちは、憧れの存在であるトップ選手から直接指導を受けたり、スパーリングを重ねたりと、充実した時間を過ごしました。参加者にとって貴重な経験となったことでしょう。



新日本建設株式会社

は極真会館愛媛県戸田道場を 応援しています。

「暮らし」を試す

新日本建設の家は、他とどこが違うのだろう。

自然素材でできた家は、何がどう違うのだろう。

そんな疑問を解消するために、実際に泊ってみませんか？

ドアを開けた時に感じる木の香り。

素足に触れる床の感触。
目覚めた時の心地よい温度や湿度。

全身で感じてください。

本社にて無料相談会やってます。
お気軽にお越しください。

TEL:0120-41-0006
(受付時間 09:00~18:00)

〒791-0054

松山市空港通3丁目9-3
TEL (089) 971-0255

新日本建設株式会社
FAX (089) 971-0573